取扱説明書

HDDモーションミュージックプレーヤー

m:robe MR-500i

はじめに

このたびは、オリンパス HDD モーションミュージックプレーヤーm:robe MR-500i をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
取扱説明書は以下のような構成になっております。ご使用の際は、これらの説明書をお読みになり、本製品を安全に正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

クイックスタートガイド
m:robeをご使用になる前に必要な準備について説明しています。
こちらを読んで準備をしていただくと、すぐにm:robeを使い始めることができます。

取扱説明書(本書)
すべての機能を説明しています。
いろいろな機能をお使いになるときは、こちらをお読みください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報については、裏表紙に記載の当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示に従ってください。
- 本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標等について

- m:robe、m:tripは、オリンパス株式会社の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。
- 本製品には株式会社リコーのフォントを使用しています。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたMP3やWMAファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMAファイルには著作権の保護を目的としたDRM(Digital Right Management)が施されている場合があります。DRMが施されているファイルは音楽CDから変換(リッピング)した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。
DRMの施されたWMAファイルは付属の音楽･画像管理ソフトm:tripを使用してm:robeに転送することができます。音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルをm:robeに転送する場合、転送回数などの制限がある場合があります。

記録した音楽／画像ファイルについて

本体やパソコンの故障により音楽ファイルや画像ファイルのデータが消去、または再生不能となった場合、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品に内蔵されているサンプル画像、曲、テンプレートのお取り扱いについて

本製品に内蔵されているサンプル画像、曲、テンプレートの著作権は作家および画像･曲･ファイル提供者に帰属しています。
これらのサンプル素材を営利目的で複製、使用すること、第三者に譲渡、転売することは禁じられています。
万一これらに反する使用をされた場合は著作権侵害により罰せられる場合がございます。
また、当社はそれらに関する一切の責任を負いかねますので充分ご注意ください。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、使いたい機能、知りたい機能をすぐに検索できるように、目次、索引のページが用意されています。

目次から探す（☞6ページ）
この取扱説明書に記載されている説明のタイトルが並べられています。
m:robeを使い始める前に読む章や、音楽の再生、静止画撮影の基本操作を覚えたいときに読む章など、目的別に構成されています。

索引から探す（☞108ページ）
機能名や各部の名称など、この取扱説明書で使っている用語が50音順に並べられています。
本書を読んでいて、分からない言葉や知りたい言葉がでてきたときに、索引からその用語を使っているページを探すことができます。

本文中のマークについて

この取扱説明書では、次のマークを使っています。

マーク	マークの意味
補足	m:robeを使用するとき、知っておくと便利な情報を記載しています。
ご注意	m:robeを使用するとき、注意していただきたいことを記載しています。
☞	関連情報や参照ページを記載しています。

m:robeの特長

- 20GBの大容量ハードディスクに、音楽最大約5,000曲*[1]、画像最大約20,000枚*[2]を入れて持ち運べます。
- MUSIC、PHOTO、REMIX*[3]の3つの機能が楽しめます。
- 付属の音楽・画像管理ソフトm:tripからワンクリックで音楽配信サイトにリンクして、簡単に音楽の購入ができます。
- 付属の音楽・画像管理ソフトm:tripでご自分の音楽CDや画像を簡単に追加、管理することができます。
- m:robeと付属の音楽・画像管理ソフトm:tripで保存されている音楽、画像、リミックスのデータを、簡単な操作で同期することができます。
- PictBridge対応のプリンタに接続して、簡単に画像をプリントすることができます。
- テレビに接続して、音楽、画像、リミックスの再生を楽しむことができます。
- パソコンの外付けハードディスクドライブとして認識させることができます。

*[1] 音楽データのみを入れた場合
WMA形式、128kbpsのファイルを、1曲4分で換算時
*[2] 400万画素で撮影した画像のみを入れた場合
*[3] リミックステンプレートを使用して、複数の画像を音楽と組み合わせて再生するリミックス映像再生プレーヤーを搭載

目次

はじめにご確認ください

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品のお取り扱いについて

警告

- **水がかかる場所では使用しない。**感電・火災・発熱・破裂の原因となります。雨天や降雪、海岸や水辺での使用は充分に注意してください。また風呂場やシャワー室では使用しないでください。
- **ストーブなど火のそばで使用や放置はしない。**発熱、破裂、火災の原因となります。特に充電中はご注意ください。また電源コード被覆が損傷した場合には火災、感電の恐れがあります。
- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- **フォトライトの発光部を人の目に向けて至近距離で点灯しない。**視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりして、けがなどの事故の原因となります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**保護者の目の届かないところで、使用しないように注意してください。
- **通電中の本体やACアダプタ、クレードルに長時間触れない。**充電中は、本体やクレードルの温度が高くなります。また、専用のACアダプタをご使用時も長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **雷が鳴り出したら使用しない。**感電の原因になります。ACアダプタを抜いてご使用をひかえてください。
- **歩行中や運転中には使用しない。**けがや事故の原因となります。特に運転しながら表示画面を見ることは絶対に避けてください。

- **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、火災や感電の原因となりますので、すぐに電源を切り、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- **異臭、過熱、変色、変形、発煙が発生したときは使用しない。**そのまま放置すると火災、感電、やけどなどの原因となりますので、すぐに AC アダプタを外し電源を切り、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。
- **液漏れや異臭がする場合には火気から遠ざける。**破裂や発火の原因になります。
- **本体およびACアダプタの分解や改造をしない。**内部には電圧の高い部分があり、感電やけがをする原因となります。
- **電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工しない。重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げない。**電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

注意

- **電源プラグの抜き差しは、濡れた手では絶対にしない。**感電の危険があります。
- **炎天下の車内など高い温度になる所へ放置しない。**内蔵バッテリから液漏れしたり、部品が劣化したり、火災の原因となります。また、AC アダプタやクレードルを布などで覆った状態で使用しないでください。熱が発生し、火災の原因となります。
- **専用のACアダプタ以外は使用しない。**本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外の AC アダプタの使用により生じた傷害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- **電源コードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしない。**必ずプラグを持って、抜き差しを行ってください。以下の場合は、直ちに使用を中止し、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
  - 電源プラグやコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があった場合。
- **本体の外装の金属部分に、長時間触れない。**
  - 長時間お使いになると、本体の温度が高くなります。金属部分に触れたまま長時間使用を続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  - 低温下にさらされていると、本体の外装も低温になります。皮膚が貼り付いてけがをする場合があります。低温やけどや傷害を防ぐため、手袋などをご使用ください。
- **溶液等の漏れがある場合には、溶液に触れない。**本体の内蔵バッテリ等からの液漏れが考えられます。溶液が目に入ったり皮膚に付着すると、人体に障害を起こすおそれがありますので触れないでください。溶液に触れた場合には、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、医師の治療を受けてください。

製品の使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる場合がありますので、避けてください。
  - 高温多湿、または温度･湿度変化の激しい場所、直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - スピーカーなど強い磁気を発する機器のそば
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- 本製品を落としたりぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。
- 本製品のそばに磁気を帯びたものを近づけないでください。本製品に記録した内容が読み出せなくなる場合があります。また、本製品とクレジットカードやフロッピーディスクなどの磁気媒体を使用するものを近づけると、クレジットカード等も使用できなくなるおそれがあります。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。撮像素子の退色、焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、本体内部で結露する場合があります。本体を室内の温度になじませてからご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶ディスプレイが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は、中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い落してください。
- 液晶ディスプレイの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶ディスプレイにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがって液晶ディスプレイは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶ディスプレイは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

クレードルについて

危険

- **内部に水を入れない。**クレードルを水の中に落としたり、浴室など湿気の多い場所で使用すると、火災や発熱、感電の原因となることがあります。
- **変形や改造、分解をしない。**火災や発熱、感電、けがの原因となることがあります。

警告

- **金属類を置かない。**火災や発熱、感電の原因となることがあります。
- **幼児、子供の手の届くところに置かない。**保護者の目の届かないところで、使用しないように注意してください。

注意

- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。破裂や火災、液漏れ、バッテリの故障の原因となることがあります。
- 重い物をのせたり、湿度の高い場所や不安定な場所に放置しないでください。破裂や火災、液漏れ、バッテリの故障の原因となることがあります。
- 使用中に長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。
- 充電を開始してから5時間以上経過しても、充電が終了しない場合は、故障している可能性があります。このようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- テレビの上など不安定な場所でクレードルを使用したり、保管しないでください。落下してけがをするおそれがあります。

AC アダプタについて

注意

- 付属のACアダプタか当社指定のものを使用してください。間違った物を使用すると装置の故障や安全上の問題を起こすことがあります。また、電源は必ず指定の電圧範囲でご使用ください。
- ACアダプタは室内専用です。
- 接続コードや電源プラグをコネクタやコンセントから抜くときは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。本製品内のデータや本製品の設定値、機能にトラブルを生じる場合があります。
- 長期間、本製品を使用しない場合には、安全のためにACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源コードにゆとりをもたせ、ACアダプタやコードに無理な力がかからないようにしてください。
- 使用中、ACアダプタが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタ内部で発信音がすることがありますが、故障ではありません。
- ラジオの近くで使用すると雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

内蔵ハードディスクについて

本製品にはハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすく、保存されているデータが損なわれることがありますので、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 以下のような環境にて本製品を操作したり、放置すると動作不良や故障、データの消失の原因となることがありますので避けてください。
  - 急な温度変化を与えないでください。結露が生じる原因となります。
  - 雷が鳴っているときは使用しないでください。
  - 磁石やスピーカーなど磁気の影響を受けやすいものなどを近づけないでください。
  - 激しい振動のある場所に置かないでください。
  - 物をのせたり、物を落としたりしないでください。
  - コップなど、近くに液体の入った容器を置かないでください。
  - 振動や衝撃を与えたり、振り回したり、落とさないでください。
  - 強い力で押したり、ひねらないでください。
  - 内蔵ハードディスクへの書き込み、読み出し中は、電源を切ったり、USBケーブルを抜かないでください。
- パソコンで本製品をフォーマットしないでください。
- 内蔵ハードディスクに保存しているデータは、万一故障したり、変化や消失した場合に備えて、定期的にバックアップを取って保存することをおすすめします。
- 内蔵ハードディスクに保存した内容の損害について、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理や点検に出す際には、必ずバックアップをお願いします。
  修理や点検のためにハードディスクへの書き込みや消去を行う場合があります。

内蔵バッテリのお取り扱いについて

内蔵バッテリは本製品専用です。その他の機器では使用しないでください。

- **自然放電について**

内蔵バッテリは本製品を使用していない間も少しずつ自然放電していきます。ご使用になる前に、こまめに充電することをおすすめします。更に長期間ご使用にならない場合でも、バッテリ性能を維持するために、半年に1回程度充電することをおすすめします。

- **内蔵バッテリの寿命について**
  - 内蔵バッテリは約500回充電できます。(数値はあくまでも目安ですので、使用方法によって異なります。)
  - 内蔵バッテリは消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。十分に充電しても使える時間が極端に短くなった場合は、内蔵バッテリを交換する必要があります。このようなときは、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

- **使用時の温度について**

内蔵バッテリは化学製品です。適切な環境で使用しているときでも、内蔵バッテリの持続時間が短くなる場合がありますが、故障ではありません。

- 推奨温度
  - 充電: 5℃～35℃

上記の推奨温度範囲外で本製品を使用した場合、内蔵バッテリの持続時間や寿命が短くなるおそれがあります。

補足

内蔵バッテリの残量にかかわらず、本内蔵バッテリは完全に充電するように設計されています。

- **廃棄について**

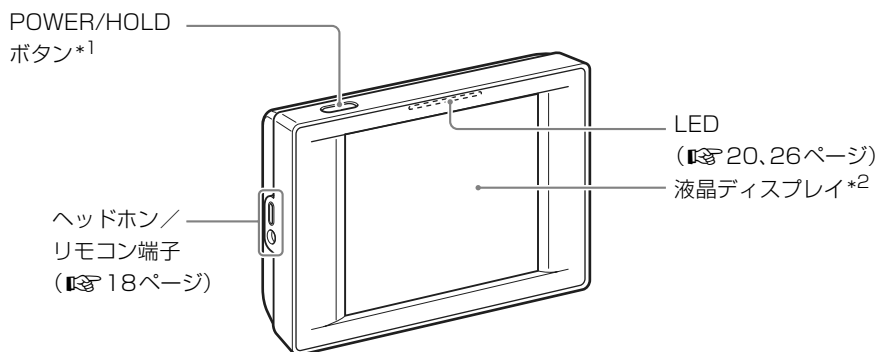
本製品内蔵バッテリには、リチウムポリマーバッテリを使用しています。リチウムポリマーバッテリは、リサイクル可能な貴重な資源です。

本製品を廃棄されるときは、内蔵バッテリをリサイクル協力店へお持ちください。

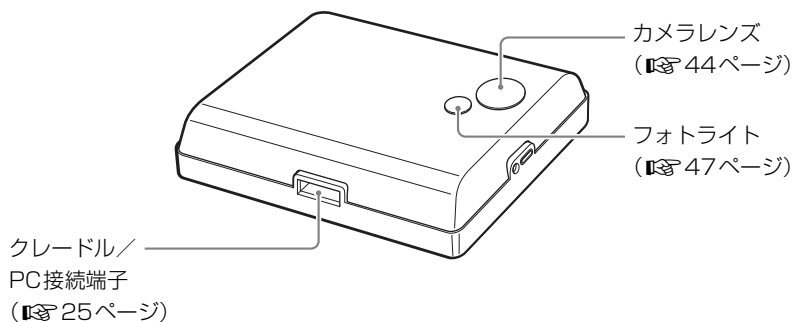
内蔵バッテリを取り外す方法について詳しくは、「m:robeを廃棄されるときのご注意」(☞97ページ)をご覧ください。なお、廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

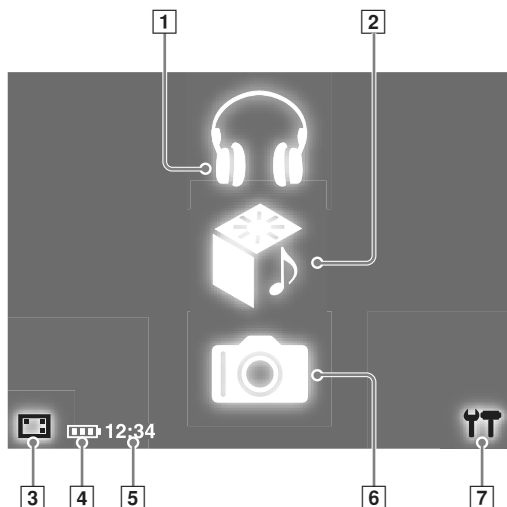
各部のなまえと働き

本体

表面

*1 押して、電源をオンにします。LEDが点滅するまで長押しして、電源をオフにします。(☞24ページ)
電源がオンの状態で押して、ホールドをオン／オフにします。(☞19ページ)

*2 タッチパネルを操作します。(☞16ページ)

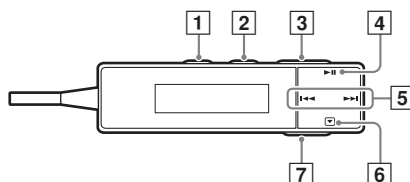
裏面

液晶ディスプレイ(HOME画面)

m:robeの液晶ディスプレイはタッチパネルになります。
表示されるアイコンを指の腹で軽くタッチして操作します。
屋外など明るい場所では、画面が見えにくくなる場合があります。

番号	項目	説明
1	MUSIC(ミュージック)	MUSIC 画面を表示します。MUSIC では、音楽再生に関する操作や設定を行います。(☞29ページ)
2	REMIX(リミックス)	REMIX 画面を表示します。REMIX では、音楽と画像にリミックス効果を加えて楽しむための操作や設定を行います。(☞63ページ)
3	表示オン／オフ	画面隅のアイコンとインジケータの表示のオン／オフを切り替えます。
4	バッテリインジケータ	バッテリの残量を表示します。
5	現在時刻表示	現在時刻が表示されます。現在時刻の設定のしかたについて詳しくは、「日付と時刻を設定する」(☞92ページ)をご覧ください。
6	PHOTO(フォト)	PHOTO 画面を表示します。PHOTO では、静止画撮影、画像閲覧に関する操作や設定を行います。(☞42ページ)
7	設定	「m:robe設定」画面を表示して、表示言語や日付時刻の設定など、m:robeのいろいろな設定を行います。(☞91ページ)

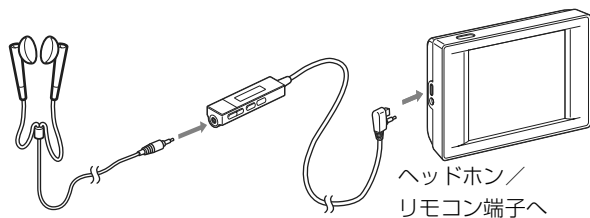
バッテリの残量表示について

バッテリインジケータ	説明
(3目盛)	バッテリは完全に充電されています。
(2目盛)／(1目盛)	バッテリが消耗しています。
(空)	バッテリ残量がありません。充電してください。

リモコン

音楽再生に関する一部の操作を、リモコンで行うことができます。

番号		項目	説明
1	♥	お気に入り登録	長押しして、ディスプレイに表示されている曲をお気に入りに登録します。（☞41ページ）
2		MODE（モード）	押すごとに、リピート再生（すべて）／リピート再生（1 曲）／ランダム再生／ランダムリピート再生／オフの順に、再生モードが切り替わります。
3		Volume（ボリューム）+/－	音量を調節します。
4	▶II	再生／停止	曲を再生／停止します。
5	I◀◀／▶▶I	曲戻し（早戻し）／曲送り（早送り）	曲の頭出しをします。2 回押して、前の曲の頭出しをします。長押しして、早戻します。 ／次の曲を再生します。長押しして、早送りします。
6	▼	ディスプレイ	押すごとに、曲名／アーティスト名／通常表示の順に、ディスプレイに表示される項目が切り替わります。
7		HOLD（ホールド）	リモコン操作をホールド／ホールド解除します。（☞19ページ）

リモコンとヘッドホンを取り付ける

下の図のように、リモコンとヘッドホンを本体に取り付けます。

ご注意

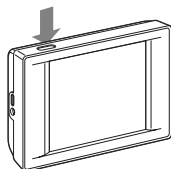
- 耳への刺激を避けるため、音量を最小にしてからヘッドホンを取り付けてください。
- 音量をあまり上げすぎないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

誤作動を防止する

－ホールド機能

ポケットやカバンに入れて使うときなどに、m:robeの誤作動を防ぐことができます。

本体をホールドに設定する

電源がオンの状態で、HOLDボタンを押します。

画面が消灯して、タッチパネルが働かなくなります。

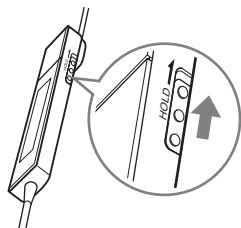
ホールドを解除するには

再びHOLDボタンを押します。

ご注意

POWER/HOLDボタンをLEDが点滅するまで数秒押し続けると、電源がオフになります。電源をオンにしたい場合は、POWER/HOLDボタンを押してください。

リモコンをホールドに設定する

HOLDスイッチを矢印の方向に切り替えます。

リモコンの操作ボタンが働かなくなります。

ホールドを解除するには

HOLDスイッチを矢印と逆の方向に切り替えます。

準備する

m:robeを準備する

ご注意

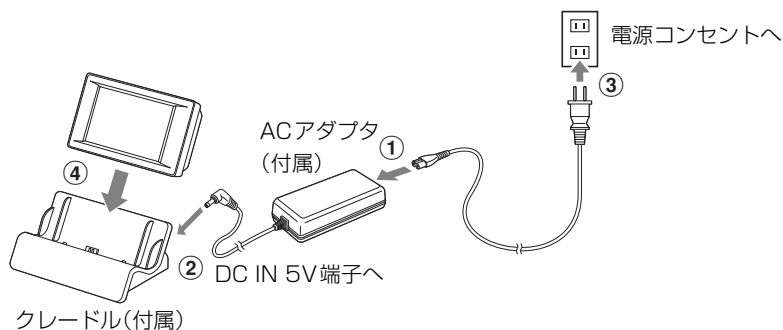
付属の音楽･画像管理ソフトm:tripをインストールする前に、m:robeをパソコンに接続しないでください。

バッテリを充電する

1 ACアダプタと電源コードを接続します。

2 クレードルのDC IN 5V端子にACアダプタを差し込みます。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

4 電源がオフになっていることを確認してから、m:robeをクレードルに取り付けます。

充電が始まり、本体のLEDが点灯します。
充電が完了すると、LEDが消灯します。

補足

- 完全に充電するには、約3時間かかります。
- 付属のACアダプタはDC入力5Vを指定するオリンパス専用製品です。

m:tripを準備する

パソコンに必要なシステム構成

m:tripを使用するには次の動作環境が必要です。

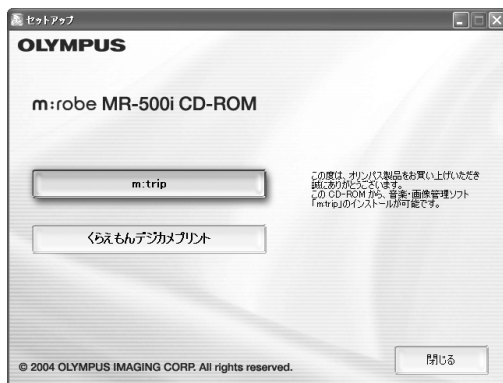
- OS: Windows 2000 Professional、Windows XP Professional/Home Edition
- CPU: Pentium III 500MHz以上
- RAM: 128MB以上(256MB以上を推奨)
- ハードディスク空き容量: 200MB以上(インストール時必要容量)
- USBポート: USB2.0/1.1(USB2.0 High Speedを推奨)
- モニタ: 800×600ドット以上、65,536色以上(1,677万色推奨)
- CD-ROMドライブ
- Internet Explorer 6以上
- Windows Media Player 9以上

補足

OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。

音楽・画像管理ソフトm:tripをインストールする

1 パソコンを起動してCD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

次の画面が表示されます。

補足

上の画面が表示されない場合は、デスクトップ(Windows XP の場合は、タスクバーの[スタート]メニュー)の[マイコンピュータ]から CD-ROM のアイコンをダブルクリックして、[Launcher.exe]を起動してください。

2 [m:trip] ボタンをクリックします。

インストールウィザード画面が表示されたら、画面に出てくる説明に従って進んでください。

3 インストール完了画面で [完了] をクリックします。

m:tripのインストールが完了します。

インストール完了後、再起動を要求された場合は、パソコンを再起動してください。

m:tripを起動するには

デスクトップ上に作成されたm:tripのアイコンをダブルクリックしてください。
起動後、ユーザー登録画面でユーザー登録してください。

オンラインヘルプについて

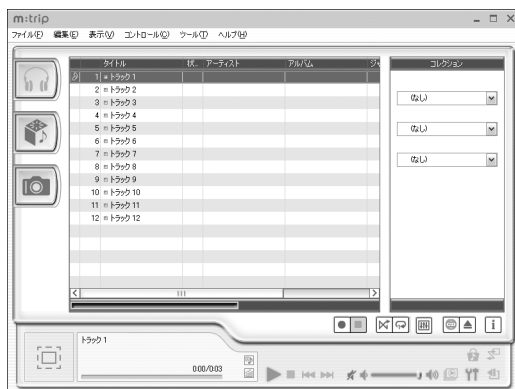
m:tripの詳しい操作や説明については、画面上の[ヘルプ]からオンラインヘルプをご覧ください。

m:tripに音楽／画像を取り込む

音楽を取り込む

音楽CDをパソコンに挿入して、音楽を取り込むことができます（インポート）。
音楽CDからm:tripに音楽を取り込むときは、WMA形式で取り込まれます。
MP3形式で取り込むことはできません。

1 音楽CDをパソコンに挿入します。

m:tripが自動的に起動して、次の画面が表示されます。

 補足

m:trip が自動的に起動しない場合は、タスクバーの [スタート] メニュー、[（すべての）プログラム]、[OLYMPUS m-trip]から[m-trip]を起動してください。

2 画面に表示される[音楽CDからのインポート]ボタンをクリックします。

音楽の取り込みが始まります。

補足

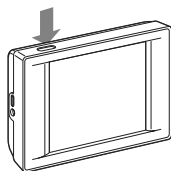
- すでにパソコンに取り込んでいるWMA形式やMP3形式の音楽ファイルをm:tripにインポートすることや、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを取り込むこともできます。
  これらの操作方法について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Explolerなどのその他のアプリケーションソフトを使用して音楽データ転送をしても、m:robeで音楽の再生はできません。m:robeへの音楽データの転送にはm:tripを使用してください。詳しくはm:tripオンラインヘルプをご覧ください。

画像を取り込む

m:robeで静止画を撮影して保存する以外に、すでにパソコンに取り込んでいる画像をm:robeに転送することができます。パソコンに取り込んでいる画像をm:robeに転送したい場合は、m:tripにインポートしてください。インポートのしかたについて詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

m:tripからm:robeに音楽／画像を転送する

電源をオンにする

POWERボタンを押します。

電源をオフにするには

LEDが点滅するまで、POWERボタンを長押しします。

補足

音楽やスライドショー、リミックスなどの再生が停止した状態で 10 分間操作しないと、自動的に電源がオフになります（オートオフ）。再び電源をオンにするには、POWERボタンを押してください。

パソコンに接続する

1 m:robeの「USB接続」が「PC」に設定されていることを確認します。

① HOME画面右下の をタッチします。

「m:robe設定」画面が表示されます。

② 「USB 接続」をタッチします。

「USB接続」画面が表示されます。

③「PC」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は、「PC」をタッチします。

④「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻ります。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

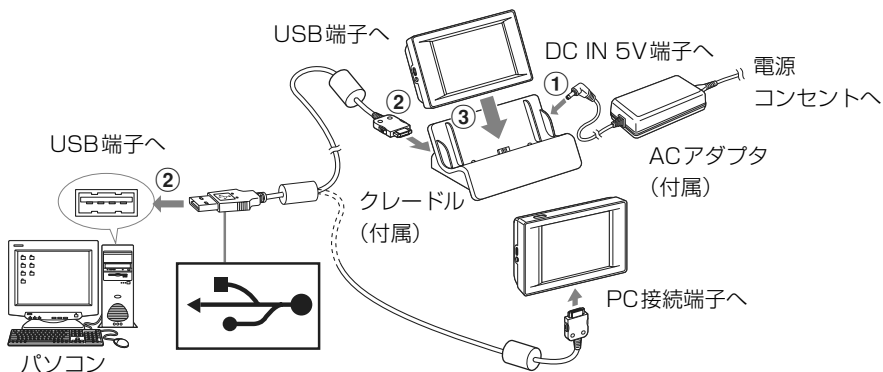
2 m:robeをパソコンに接続します。

① ACアダプタをクレードルに接続します。

ACアダプタと電源コードを接続し、ACアダプタをクレードルのDC IN 5V端子、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

② パソコンとクレードルを、専用USBケーブルで接続します。

コネクタの矢印があるほうの面を下側にして、クレードルのUSB端子に接続します。

③ m:robeをクレードルに取り付けます。

補足

上の図のように、m:robe本体とパソコンを直接接続することもできます。その場合は、バッテリが充分に充電されているか確認してください。

ご注意

パソコンと通信中にm:robeの動作が停止すると、パソコンが誤動作したり、データが破損することがあります。パソコンと接続するときは、ACアダプタのご使用をおすすめします。

転送を開始する

m:robeをパソコンに接続すると、m:tripが起動します。
パソコンの画面右下の[同期]ボタンをクリックして表示される画面で、[開始]ボタンをクリックすると転送が始まります。
転送中はm:robe本体のLEDが点滅します。

転送が完了すると、LEDが消灯して、m:robeのメッセージ画面が「ケーブルを抜かないでください」から「同期が完了しました　m:tripで取り外し処理を行ってください」に切り替わります。

補足

m:robe をパソコンに接続したとき、自動的に m:trip が起動しないように設定することができます。詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

m:robeをパソコンから取り外す

1 m:robe に「同期が完了しました m:trip で取り外し処理を行ってください」というメッセージ画面が表示されていることを確認します。

2 パソコンの画面の[m:robeの取り外し]ボタンをクリックします。

3 m:robeをクレードルから取り外します。
m:robe本体とパソコンを直接接続している場合は、m:robeから専用USBケーブルを抜いてください。

m:robeとm:tripの同期機能について

m:robe とパソコンを接続して、m:trip で保存されている音楽、画像、リミックスのデータの内容を、m:robeとm:tripの間で一致させて相互に転送することができます。この機能のことを「同期」と呼びます。
例えば、m:trip でファイルに追加した情報を m:robe に反映することができます。また、音楽／画像ファイルについては、m:tripで曲のタイトル横や画像のサムネイルに表示される「同期チェックボックス」のチェックを入れたり外したりして、ファイルごとに同期する／同期しないように設定して、m:robeのデータの管理を行うことができます。

m:robeに転送できるファイル形式

－音楽ファイル
- WMA（可変ビットレートを含む）
- MP3（可変ビットレートを含む）

－画像ファイル
- Exif-JPEG、JFIF-JPEG
- Exif-TIFF、TIFF（非圧縮のみ）
- PNG
- Bitmap

補足

m:robeで対応していないファイル形式のデータは、パソコンと接続しても同期されません。

音楽ファイルの同期について

音楽ファイルの管理は、m:tripで行います。m:tripでは保存しておきたいけれど、m:robeに転送したくないファイルは、m:trip で曲のタイトル横に表示される「同期チェックボックス」のチェックを外して同期されないように設定します。
また、m:robe 内のファイルを削除したいときは、m:trip で「同期チェックボックス」のチェックを外すと、次回同期したときにこのファイルはm:robeから削除されます。（☞41ページ）

画像ファイルの同期について

m:robeで撮影した画像やm:tripで保存している画像は、m:tripで削除したり、ファイルごとに同期しないように設定することはもちろん、m:robeで削除することもできます。(☞58ページ)
m:robeで削除した画像ファイルは、m:tripと同期したときに自動的にm:tripの「同期チェックボックス」のチェックが外れて、次回から同期されませんが、m:tripで削除されることはありません。

補足

同期によってm:tripからm:robeに転送できる画像の枚数は、「お気に入り」を除く各アルバム(m:tripのキーワード)につき、m:tripに取り込んだ順に250枚までです。

リミックスデータの同期について

リミックスのデータは、リミックスキューブの作成に使用している音楽ファイル、画像ファイル、リミックステンプレートを含め、すべて同期されます。m:robeとm:tripの双方で不要になったリミックスキューブはm:tripで削除してください。(リミックスキューブを削除しても、使用している音楽/画像ファイル、リミックステンプレートがパソコンから削除されることはありません。)
詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
リミックスキューブやリミックステンプレートついて詳しくは、「REMIX」(☞63ページ)をご覧ください。

ご注意

m:tripでファイルを削除した場合、次回同期したときにm:robeからも自動的に削除されます。

補足

- m:tripを使うことでバックアップなどの管理が簡単にできます。便利にお使いいただくために、m:tripのご使用をおすすめします。なお、m:tripで管理されているデータを消去しないように、ご注意ください。
- m:robeを複数所有している場合、それぞれのデータの管理を1台のパソコンで行うことができます。1台のパソコンで管理できるm:robeは最大で8台です。
  ただし、1台のm:robeを複数のパソコンに接続して使用することはできません。
  これらの操作や機能について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

MUSICには、音楽再生に関する操作や設定を行うPLAYモード（☞29ページ）、いろいろな検索条件から目的の曲を検索するSEARCHモード（☞37ページ）があります。
この章では、MUSICでできることについて説明します。

MUSIC画面を表示するには
POWERボタンを押して電源をオンにしてから、HOME画面で🎧をタッチします。
PHOTO、REMIX 画面が表示されている場合は、画面左上の🏠をタッチして表示される画面内の「🎧MUSIC」をタッチします。

音楽を聴く

－PLAY（プレイ）モード

音楽再生の基本操作

例：「list」画面

番号	項目	説明
1	再生中マーク	再生中／再生される曲に表示されます。
2	REMIX/PHOTO/HOME切り替え	表示される画面内の「REMIX」／「PHOTO」／「HOME」を選択して、それぞれの画面を表示します。
3	再生経過時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。
4	モード名表示	PLAY/SEARCH モード切り替え時に、「PLAY」または「SEARCH」が2秒間表示されます。
	曲名／アーティスト名表示	再生中／再生される曲の曲名／アーティスト名が表示されます。
5	現在位置表示カーソル	曲の中のおおよその現在位置が表示されます。
6	「list」／「info」／「lyrics」／「EQ」画面切り替え	「list」（現在の画面）、「info」（アルバム情報／ジャケット写真表示）（☞33ページ）、「lyrics」（歌詞表示）（☞34ページ）、「EQ」（イコライザの表示と設定）（☞35ページ）画面が、タッチするごとに切り替わります。
7	再生総時間表示	再生中の曲の総時間が表示されます。
8	モード切り替え	表示される画面内の「SEARCH」を選択して、SEARCH モード画面を表示します。
9	曲目リスト戻し／送り	曲目リスト内に4曲以上ある場合、をタッチすると次の曲、をタッチすると前の曲が表示されます。
10	曲目リスト	現在選択しているアルバムなどの曲一覧が表示されます。
11	表示オン／オフ	画面隅のアイコンとインジケータの表示のオン／オフを切り替えます。
12	再生／停止	▶をタッチして、選択曲を再生します。* ❚❚をタッチして、曲を停止します。
13	曲戻し／早戻し	曲の頭出しをします。2回タッチして、前の曲の頭出しをします。数秒タッチし続けて、早戻しします。

* 曲目リスト内で選択曲（フォーカス表示された曲）をタッチすることでも再生できます。

番号	項目	説明
14	リピート再生マーク	「リピート再生」を「1 曲」／「すべて」に設定しているとき、表示されます。（☞32ページ）
15	ランダム再生マーク	「ランダム再生」を「ON」に設定しているとき、表示されます。（☞32ページ）
16	曲送り／早送り	次の曲を再生します。 数秒タッチし続けて、早送りします。
17	お気に入り登録	画面上に表示されている曲を「お気に入り」に登録します。（☞41ページ）
18	音量調節	音量調節画面を表示して、音量を大きくしたい場合は右側の🔊を、小さくしたい場合は左側の🔈をタッチして調節します。調節後、音量調節画面以外の部分をタッチすると前の画面に戻ります。
19	フォーカス表示	選択している曲をあらわします。
20	設定	「MUSIC設定」画面を表示して、ランダム再生、リピート再生（☞32ページ）の設定を行います。

聴きたい曲やアルバムを選択するには

聴きたい曲やアルバムは、SEARCHモードで検索して、選択することができます。（☞37ページ）

ランダムに再生する／繰り返し再生する

PLAY モードの曲目リストに表示されている曲を順不同に再生したり、お好みの 1 曲または曲目リスト内の全曲を繰り返し再生するように設定できます。

1 MUSIC画面右下の をタッチします。

「MUSIC設定」画面が表示されます。

「ランダム再生」を「ON」に設定する場合

2 「ランダム再生」の「ON」をタッチします。

「リピート再生」を「1曲」または「すべて」に設定する場合

2 「リピート再生」の「1曲」または「すべて」をタッチします。

- 1曲: 1曲を繰り返し再生します。
- すべて: 曲目リスト内の全曲を繰り返し再生します。

3 再び をタッチします。

前の画面に戻り、設定が完了します。

「ランダム再生」を「ON」に設定したときはRANDOM、「リピート再生」を「1曲」に設定したときは 、「すべて」に設定したときは が画面下に表示されます。

補足

- ランダム再生／リピート再生を解除したい場合は、手順2で「OFF」をタッチします。
- 「リピート再生」を「1曲」に設定すると、「ランダム再生」は自動的に「OFF」になります。
- 「リピート再生」を「1曲」に設定しているときに、「ランダム再生」を「ON」に設定すると、「リピート再生」は自動的に「OFF」になります。
- 「ランダム再生」を「ON」や「リピート再生」を「1曲」または「すべて」に設定する場合は、バッテリの持続時間を長くするために本体をホールドに設定することをおすすめします。（☞ 19ページ）

曲の情報を見る

ー「info」

画面上に表示されている曲が属するアルバムの情報とジャケット写真を表示することができます。

「info」画面を表示するには

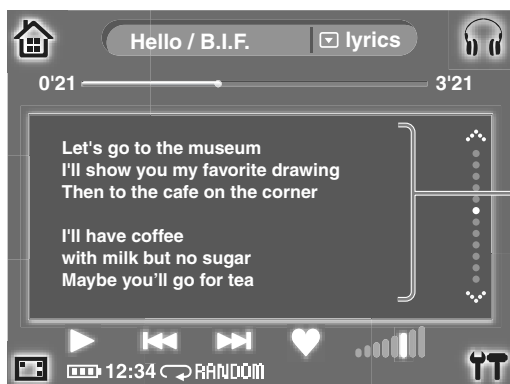
PLAY モードの曲名／アーティスト名表示横に「info」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

* ジャケット写真情報がない、または設定されていない曲の場合、□が表示されます。
m:trip以外でジャケット写真を設定した曲の場合、□が表示される場合があります。

アルバム情報、ジャケット写真の取得と設定方法について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

曲の歌詞を見る
－「lyrics」

画面上に表示されている曲の歌詞を表示することができます。

「lyrics」画面を表示するには
PLAY モードの曲名／アーティスト名表示横に「lyrics」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

* 歌詞情報がない場合、「NO LYRICS」が表示されます。

歌詞の表示方法について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

イコライザを使用する

ー「EQ」

音楽のジャンルや音楽を聴く場所などに合わせて、お好みのイコライザに設定して、m:robe のサウンドを変更することができます。m:robeには16種類(FLATを除く)のイコライザと、お好みでイコライザレベルを調整できる1種類のユーザー設定が用意されています。

m:robeに用意されているイコライザ

音楽のジャンルに合った効果が得られます。	CLASSICAL、ELECTRONICA、HIP HOP、JAZZ、POP、ROCK、R&B
特定音域を強調した効果が得られます。	BASS BOOST、BASS CUT、MID BOOST、MID CUT、HI BOOST、HI CUT、VOCAL BOOST
その他	SPOKEN WORD: ボーカル部分やナレーションなど人の声を強調します。 ON A TRAIN: 重低音を上げて、高音をカットして音漏れを防止します。飛行機や電車の中など混雑した場所で聴くときに適したイコライザです。 FLAT:イコライザをフラットにします。 **ユーザー設定**: お好みで調整したイコライザレベルです。

1 PLAY モードの曲名/アーティスト名表示横に「EQ」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

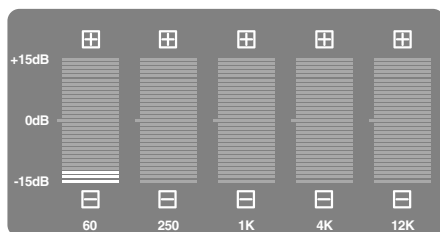
「EQ」画面が表示されます。

2 画面右に表示されるリストから、∵(送る)と∴(戻る)を使用して、お好みのイコライザを選んでタッチします。

イコライザが設定されます。

イコライザレベルの調整

1 画面左に表示されるイコライザレベル表示をタッチします。

レベル調整画面が表示されます。

2 レベルを上げたい場合は⊞を、下げたい場合は⊟をタッチして調整します。

調整後、レベル調整画面以外の部分をタッチすると前の画面に戻り、画面右のリストの「ユーザー設定」がフォーカス表示され、「ユーザー設定」に登録されます。
「ユーザー設定」は 1 種類のみ登録できます。次回イコライザレベルの調整を行うときに、前回設定した「ユーザー設定」の内容は更新されます。

 補足

イコライザレベルの調整は「ユーザー設定」にのみ登録されます。その他のイコライザのレベルは変更されません。

聴きたい曲を検索して再生する

－SEARCH(サーチ)モード

SEARCH モードでは、「プレイリスト」、「アルバム」などの検索条件から、目的の曲を検索して再生することができます。また、いくつもの条件を選択して、検索内容を絞り込むことができます。

PLAYモードからSEARCHモードに切り替えるには
画面右上の🎧をタッチして表示される画面内の「🔍SEARCH」をタッチします。

SEARCHモード第一階層画面

検索条件一覧表

第１階層	第２階層	第３階層	第４階層	第５階層	第６階層
お気に入り	曲一覧				
プレイリスト	プレイリスト一覧	曲一覧			
アーティスト	アーティスト一覧	アルバム	アルバム一覧	曲一覧	
		すべて	曲一覧		
アルバム	アルバム一覧	曲一覧			
ジャンル	ジャンル一覧	アーティスト	アルバム	アルバム一覧	曲一覧
			すべて	曲一覧	
		アルバム	アルバム一覧	曲一覧	
		すべて	曲一覧		
作曲者	作曲者一覧	アルバム	アルバム一覧	曲一覧	
		すべて	曲一覧		
リリース年	リリース年一覧	アルバム	アルバム一覧	曲一覧	
		すべて	曲一覧		
最近聴いた曲	曲一覧				

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層
ジャケット写真付きの曲	曲一覧				
歌詞付きの曲	曲一覧				
MY TOP 100	曲一覧				
未再生の曲	曲一覧				
すべて	曲一覧				

補足

上記の検索条件一覧表は、m:tripで設定している内容や曲情報によって異なります。

プレイリストについて

m:trip でオリジナルのプレイリストを作成することができます。プレイリストは、m:robe と m:tripを同期するときに取り込むことができます。
詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
同期について詳しくは、「m:robeとm:tripの同期機能について」(☞27ページ)をご覧ください。

絞り込み検索のしかた

ここでは、「ジャンル」/「アーティスト」/「アルバム」と検索条件を絞り込んだ場合を例にして説明します。

1 SEARCHモード第一階層画面で、検索条件一覧の中の「ジャンル」をタッチします。
ジャンル一覧が表示されます。

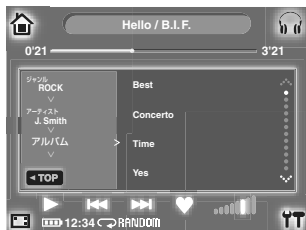
2 ジャンル一覧の中の聴きたいジャンルをタッチします。

3 「アーティスト」をタッチします。

選択したジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

4 アーティスト一覧の中の聴きたいアーティストをタッチします。

5 「アルバム」をタッチします。

選択したアーティストのアルバム一覧が表示されます。

6 アルバム一覧の中の聴きたいアルバムをタッチします。

選択したアルバムの曲一覧が表示されます。

MUSIC

7 聴きたい曲をタッチします。

タッチした曲がフォーカス表示されます。

8 曲を再びタッチする、または▶をタッチします。

再生が始まり、自動的にSEARCHモードからPLAYモードに切り替わります。

PLAYモードの曲目リストに、アルバム内の曲一覧が表示され、順番に再生されます。

補足

- 検索の途中で▶をタッチすると、最後に選択した項目内のすべての曲が順番に再生されます。
- 手順８で曲を再生する前にPLAYモードに切り替えると、検索は中止されます。
- 手順８でPLAYモードに自動的に切り替わって、再びSEARCHモードに切り替えると、前回行った検索の内容が表示されます。検索を最初からやり直したい場合は、画面左下の◂TOPをタッチして、SEARCH モード第一階層画面に戻ってください。

検索履歴表示について

絞り込み検索中は、画面左側に検索の履歴が表示されます。

表示される項目をタッチして、検索条件を選択する階層に戻ることができます。
例えば、上の画面の「ジャンル／ROCK」をタッチすると、ジャンル一覧が表示されます。

音楽を整理する

m:robeから曲を削除する

m:robe 内の音楽ファイルを削除したいときは、m:trip で曲のタイトル横に表示される「同期チェックボックス」のチェックを外して、同期しないように設定します。次回 m:robe とパソコンを接続して同期するときに、このファイルは同期されずm:robeから削除されます。
この設定方法について詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
同期について詳しくは、「m:robeとm:tripの同期機能について」（☞27ページ）をご覧ください。

「お気に入り」に曲を登録する

お好みの曲を「お気に入り」に登録して、お気に入りリストを作成できます。
♥ をタッチすると、MUSIC 画面上に表示されている曲が「お気に入り」に登録され、「お気に入りに登録しました」というメッセージ画面が表示されます。また、リモコンのディスプレイに表示されている曲をリモコンの♥ を長押しして「お気に入り」に登録できるので、お気に入りリストの曲を簡単に増やすことができます。
お気に入りリストは、SEARCH モード第一階層画面の検索条件一覧から選択して、再生することができます。
「お気に入り」から曲を解除したいときは、m:tripで「お気に入り」から曲を削除してm:robeと同期してください。詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。

PHOTO

PHOTOには、静止画撮影を行うSHOOTモード(☞42ページ)、画像の閲覧と検索をするVIEWモード(☞48ページ)、画像をアルバムに登録するALBUMモード(☞61ページ)があります。この章では、PHOTOでできることについて説明します。

PHOTO画面を表示するには

POWERボタンを押して電源をオンにしてから、HOME画面で をタッチします。
MUSIC、REMIX画面が表示されている場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「PHOTO」をタッチします。

静止画を撮る

－SHOOT(シュート)モード

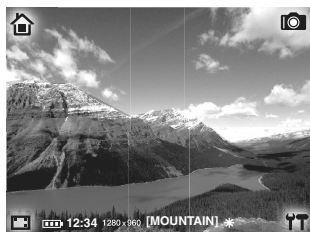
PHOTOのVIEWモードやALBUMモード画面が表示されている場合は、画面右上の をタッチして表示される画面内の「SHOOT」を選択して、モードを切り替えます。

SHOOTモードの基本操作

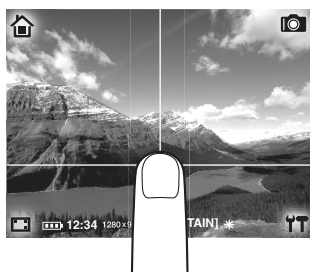
番号	項目	説明
1	MUSIC/REMIX/HOME切り替え	表示される画面内の「MUSIC」／「REMIX」／「HOME」を選択して、それぞれの画面を表示します。
2	モード切り替え	表示される画面内の「▶VIEW」／「ALBUM」を選択して、それぞれのモードの画面を表示します。
3	表示オン／オフ	画面隅のアイコンとインジケータの表示のオン／オフを切り替えます。
4	画像サイズ	現在設定している画像サイズが表示されます。（☞46ページ）
5	アルバム名	現在設定している保存先アルバム名が表示されます。（☞45ページ）
6	フォトライトON	「フォトライト」を「ON」に設定しているとき、表示されます。（☞47ページ）
7	液晶ディスプレイ	カメラレンズからの映像が表示されます。
8	設定	「PHOTO 撮影設定」画面を表示して、撮影する画像の保存先アルバム（☞45 ページ）、画像サイズ（☞46 ページ）、フォトライト（☞47ページ）の設定を行います。

撮影する

1 SHOOTモードに切り替えます。
MUSIC、REMIX 画面が表示されている場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「PHOTO」をタッチします。
PHOTO の VIEW モードや、ALBUM モード画面が表示されている場合は、画面右上の をタッチして表示される画面内の「SHOOT」を選択して、モードを切り替えます。

画面にカメラレンズからの映像が表示されます。

2 画面を見ながら構図を決めます。

3 画面をタッチして撮影します。
手振れをおこさないように本体をしっかり構えて、画面中央部を軽くタッチしてください。

ご注意
レンズに指がかからないよう、ご注意ください。

撮影した画像が数秒間表示された後、カメラレンズからの映像に戻ります。

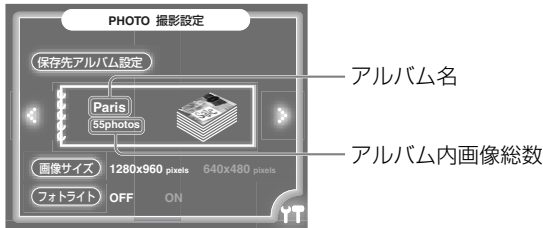
補足
SHOOTモードで約1分間操作しないと、自動的にHOME画面に戻ります。

撮影した画像を見るには

撮影した画像は、VIEWモードで見ることができます。(☞48ページ)

撮影する画像の保存先アルバムを指定する

m:robeで作成したアルバムやm:tripで作成してm:robeに取り込んだアルバムを、撮影する画像の保存先として指定することができます。
また、撮影した画像をALBUMモードで、アルバムに登録することもできます。（☞61ページ）

1 SHOOTモード画面右下のをタッチします。
「PHOTO 撮影設定」画面が表示されます。

2 （送る）と（戻る）を使用して、保存先アルバムを表示させます。
「新規」というアルバムを選択すると、m:robeに新しくアルバムが作成されます。

3 再びをタッチします。
前の画面に戻り、設定が完了します。
画面下にアルバム名が表示されます。

補足

- 1つのアルバム（「お気に入り」を除く）には、画像を250枚まで保存できます。設定している保存先アルバム内の画像総数がこの制限を超える場合は、「保存先アルバム設定」は自動的に「アルバムに入れない」になります。
- 保存先アルバムを設定すると、次回撮影する画像は設定しているアルバムに保存されます。撮影する前に、保存先アルバムの設定を確認してください。
- 「保存先アルバム設定」項目には「お気に入り」が含まれます。手順2で「お気に入り」を表示させると、撮影する画像は「お気に入り」に保存されます。お気に入りアルバムはVIEWモードの検索方式「album」画面から、見ることができます。（☞52ページ）

保存先アルバムの指定を解除するには

手順2で「アルバムに入れない」を表示させます。

新規アルバム名を変更するには

m:robeでアルバムを新しく作成すると、アルバム名は「新規1」、「新規2」…となります。アルバム名の変更はm:tripで行います。m:tripで、画像に登録されている「キーワード」（この場合「新規1」など）を変更すると、次回同期したときにm:robeのアルバム名が更新されます。
キーワードの変更のしかたについて詳しくは、m:tripオンラインヘルプをご覧ください。
同期について詳しくは、「m:robeとm:tripの同期機能について」（☞27ページ）をご覧ください。

画像サイズを設定する

撮影する画像のサイズを「1280×960 pixels」または「640×480 pixels」に設定することができます。

- 1280×960 pixels：横1280×縦960ピクセル
  パソコンなどで表示したり、プリントしたりするのに適したサイズです。

- 640×480 pixels：横640×縦480ピクセル
  パソコンなどで表示するのに適したサイズです。

1 SHOOTモード画面右下の をタッチします。
「PHOTO 撮影設定」画面が表示されます。

2 「画像サイズ」の「1280×960 pixels」または「640×480 pixels」をタッチします。

3 再び をタッチします。
前の画面に戻り、設定が完了します。
画面下に選択した画像サイズが表示されます。

フォトライトを設定する

暗い場所で撮影するときには、フォトライトを点灯させることができます。

- OFF
  フォトライトを消灯します。

- ON
  PHOTOのSHOOTモードでは、常時点灯します。

1 SHOOTモード画面右下のをタッチします。
「PHOTO 撮影設定」画面が表示されます。

2 「フォトライト」の「OFF」または「ON」をタッチします。

3 再びをタッチします。
前の画面に戻り、設定が完了します。
手順2で「ON」を選択したときは✳が画面下に表示されます。

補足
フォトライトは暗い場所での撮影を補助するものであり、カメラのフラッシュのような効果はありません。

画像を見る／検索する

－VIEW(ビュー)モード

VIEWモードでは、m:robeで撮影した画像やm:tripと同期して取り込んだ画像を見ることができます。また、たくさんの画像の中から見たい画像を、いろいろな方法で検索することができます。すべての画像のサムネイルリストから検索する「all」(☞50 ページ)、アルバムから検索する「album」(☞52 ページ)、撮影した日から検索する「calendar」(☞53 ページ)と、3 種類の検索方式があります。

PHOTOのSHOOTモードやALBUMモード画面が表示されている場合は、画面右上の📷をタッチして表示される画面内の「▶ VIEW」を選択して、モードを切り替えます。

VIEWモードの基本操作

ここでは検索方式「all」画面を例にして説明します。

PHOTO

番号	項目	説明
1	MUSIC/REMIX/HOME切り替え	表示される画面内の「MUSIC」／「REMIX」／「HOME」を選択して、それぞれの画面を表示します。
2	フォーカス表示	選択している画像をあらわします。
3	モード名表示	現在のモード名「VIEW」が表示されます。
4	検索方式切り替え	検索方式「all」（☞50ページ）、「album」（☞52ページ）、「calendar」（☞53 ページ）が、タッチするごとに切り替わります。
5	現在位置表示カーソル*	現在表示されている項目のおおよその現在位置が表示されます。
6	モード切り替え	表示される画面内の「SHOOT」／「ALBUM」を選択して、それぞれのモードの画面を表示します。
7	項目戻し	前の項目を表示します。 数秒タッチし続けると、戻る速度が上がります。
8	表示オン／オフ	画面隅のアイコンとインジケータの表示のオン/オフを切り替えます。
9	スライドショー	現在選択している画像から、スライドショーで画像表示します。（☞55ページ）
10	プリント	画像のプリントを行います。（☞76ページ）
11	ゴミ箱	画像をアルバムから解除したり（☞56ページ）、m:robeから削除します。（☞58ページ）
12	設定	「PHOTO 再生設定」画面を表示して、スライドショーの画像が切り替わる間隔の設定を行います。（☞55ページ）
13	項目送り	次の項目を表示します。 数秒タッチし続けると、送る速度が上がります。

* 検索方式「all」、「album」画面を表示しているときのみ

全画像サムネイルリストから検索して見る

－検索方式「all」

1 検索方式「all」画面が表示されていない場合は、画面上に「all」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

2 ⁝(送る)と⁝(戻る)を使用して、サムネイルリストから画像を選んでタッチします。

選択した画像がフォーカス表示されます。

PHOTO

3 再び画像をタッチします。

選択した画像が全画面表示されます。

現在の画像／画像総数

補足

- 画面上に、現在の位置（現在の画像／画像総数）が表示されます。
- をタッチすると次の画像、をタッチすると前の画像が表示されます。
- をタッチすると、画像を「お気に入り」に登録することができます。（☞60ページ）

サムネイルリスト画面に戻るには

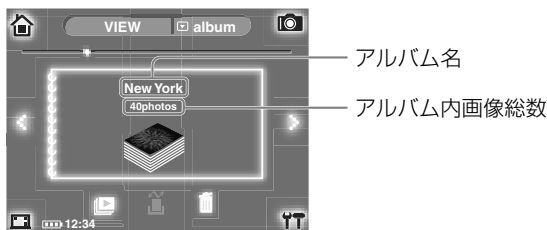
画面の操作アイコン以外の部分をタッチします。

アルバムから検索して見る

ー検索方式「album」

検索方式「album」画面では、「お気に入り」を含むアルバムに登録されている画像のみが表示されます。画像をアルバムまたは「お気に入り」に登録するには、以下の方法があります。

- 画像を撮影するときに、保存先アルバムを指定する。（☞45ページ）
- ALBUMモードで、画像をアルバムに登録する。（☞61ページ）
- 画像を「お気に入り」に登録する。（☞60ページ）

1　検索方式「album」画面が表示されていない場合は、画面上に「album」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

補足

上の画面に表示されるアルバムには「お気に入り」が含まれます。

2　⁖（送る）と⁖（戻る）を使用して、アルバムを選んでタッチします。

選択したアルバム内の画像が全画面表示されます。

補足

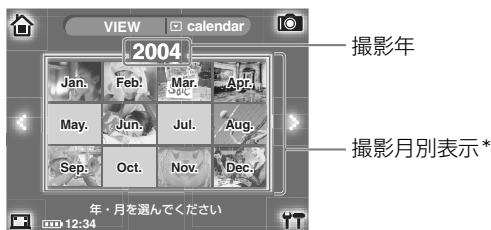
- 画面上に、現在の位置（現在の画像／アルバム内画像総数）が表示されます。
- ⁖ をタッチすると次の画像、⁖ をタッチすると前の画像が表示されます。
- ♥ をタッチすると、画像を「お気に入り」に登録することができます。（☞60ページ）

アルバムを選択する画面に戻るには

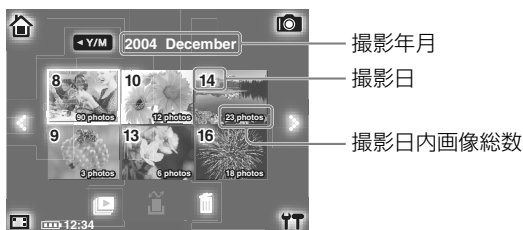
画面の操作アイコン以外の部分をタッチします。

撮影した日から検索して見る

ー検索方式「calendar」

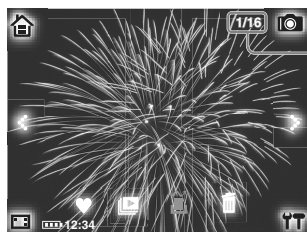
1 検索方式「calendar」画面が表示されていない場合は、画面上に「calendar」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

* 撮影した画像がない月は、サムネイルは表示されません。

2 ⁝(送る)と⁝(戻る)を使用して、カレンダーから撮影年を選んで、撮影月をタッチします。

選択した月の画像が撮影日別に表示されます。撮影した画像がない日は表示されません。
撮影年月を選択する画面に戻るには、◀Y/Mをタッチします。

3 ⁘（送る）と⁘（戻る）を使用して、撮影日を選んでタッチします。

選択した撮影日の画像がフォーカス表示されます。

4 再び画像をタッチします。

選択した撮影日の画像が全画面表示されます。

現在の画像／撮影日内画像総数

補足

- 画面上に、現在の位置（現在の画像／撮影日内画像総数）が表示されます。
- ⁘をタッチすると次の画像、⁘をタッチすると前の画像が表示されます。
- ♥をタッチすると、画像を「お気に入り」に登録することができます。（☞60ページ）

撮影日を選択する画面に戻るには

画面の操作アイコン以外の部分をタッチします。

PHOTO

スライドショーで画像を見る

VIEW モードで、画面下に が表示されているときは、スライドショーで画像を見ることができます。画像または項目を選択して をタッチすると、選択中の画像または項目内の最初の画像から順番にスライドショーが始まります。また画像が切り替わる間隔秒数を変更することができます。

画像が切り替わる間隔秒数を設定する

補足

お買い上げ時は、切り替わる秒数は「1 秒」に設定されています。

1 VIEWモード画面右下の をタッチします。

「PHOTO 再生設定」画面が表示されます。

2 「1 秒」または「3秒」、「5秒」、「10秒」をタッチします。

3 再び をタッチします。

前の画面に戻り、設定が完了します。

スライドショーを中止するには

画面をタッチします。

アルバムの登録を解除する

検索方式「album」画面で、アルバムに登録されている画像をアルバムから解除することができます。ただし、m:robeから画像が削除されることはありません。

アルバム内の全画像をアルバムから解除する

1 検索方式「album」画面で、解除したいアルバムを表示させます。

2 画面下の🗑をタッチします。
「アルバムから解除する」と「アルバムから削除する」が画面に表示されます。

3 「アルバムから解除する」をタッチします。

補足
「アルバムから削除する」をタッチして、アルバム内の全画像をm:robeから削除することができます。（☞58ページ）

4 「アルバム内全画像を解除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチします。

5 「本当に解除してもよろしいですか？」のメッセージ画面で、再び「OK」をタッチします。
アルバム内の全画像がアルバムから解除され、アルバム内画像総数が「0」になります。

補足
- 上記と同様の手順で「お気に入り」内の全画像を「お気に入り」から解除することができます。手順 1 でお気に入りアルバムを表示させて、手順３で「お気に入りから解除する」をタッチして、手順４の「お気に入り内全画像を解除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチしてください。
- アルバムの登録の解除を中止したい場合は、手順４または５で「CANCEL」をタッチしてください。

PHOTO

画像を1枚ずつアルバムから解除する

1 検索方式「album」画面から、解除したい画像を全画面表示にします。

2 画面下の🗑をタッチします。
「画像をアルバムから解除する」と「画像を削除する」が画面に表示されます。

3 「画像をアルバムから解除する」をタッチします。

補足
「画像を削除する」をタッチして、画像をm:robeから削除することができます。（☞59ページ）

4 「画像をアルバムから解除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチします。

5 「本当に解除してもよろしいですか？」のメッセージ画面で、再び「OK」をタッチします。
画像がアルバムから解除され、アルバム内画像総数が更新されます。

補足
- 上記と同様の手順で「お気に入り」内の画像を1枚ずつ「お気に入り」から解除することができます。手順1でお気に入りアルバムから解除したい画像を全画面表示にして、手順3で「画像をお気に入りから解除する」をタッチして、手順4の「画像をお気に入りから解除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチしてください。
- アルバムの登録の解除を中止したい場合は、手順4または5で「CANCEL」をタッチしてください。

m:robeから画像を削除する

VIEWモードで、画面下に🗑が表示されているときは、画像を削除することができます。
m:robe で削除した画像ファイルは、パソコンと接続したときに自動的に m:trip の「同期チェックボックス」のチェックが外れて、次回から同期されませんが、m:tripで削除されることはありません。
同期について詳しくは、「m:robeとm:tripの同期機能について」(☞27ページ)をご覧ください。

アルバム内の全画像を削除する

アルバム内の全画像をm:robeから削除することができます。

1 検索方式「album」画面で、削除したいアルバムを表示させます。

2 画面下の🗑をタッチします。

「アルバムから解除する」と「アルバムから削除する」が画面に表示されます。

3 「アルバムから削除する」をタッチします。

補足

「アルバムから解除する」をタッチして、アルバム内の全画像をアルバムから解除することができます。(☞56ページ)

4 「アルバム内全画像を m:robe から削除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチします。

5 「本当に削除してもよろしいですか？」のメッセージ画面で、再び「OK」をタッチします。

アルバム内の全画像が削除され、アルバム内画像総数が「0」になります。

補足

- 上記と同様の手順で「お気に入り」内の全画像をm:robeから削除することができます。手順1でお気に入りアルバムを表示させて、手順3で「お気に入りから削除する」をタッチして、手順4の「お気に入り内全画像をm:robeから削除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチしてください。
- 画像の削除を中止したい場合は、手順4または5で「CANCEL」をタッチしてください。

PHOTO

撮影日内の全画像を削除する

選択した撮影日内の全画像をm:robeから削除することができます。

1 検索方式「calendar」画面から撮影日別表示画面を表示して、削除したい撮影日をタッチして選択します。

2 画面下の🗑をタッチします。

3 「撮影日内全画像を m:robe から削除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチします。

4 「本当に削除してもよろしいですか？」のメッセージ画面で、再び「OK」をタッチします。
撮影日内の全画像が削除されます。

補足

画像の削除を中止したい場合は、手順3または4で「CANCEL」をタッチしてください。

1枚ずつ削除する

検索方式「all」画面でフォーカス表示されている画像、または全画面表示されている画像を m:robe から削除することができます。

1 検索方式「all」画面でサムネイルリストから削除したい画像をタッチして選択する、または検索方式「all」、「album」、「calendar」画面から削除したい画像を全画面表示にします。

2 画面下の🗑をタッチします。
検索方式「album」画面から全画面表示にしたときは、「画像をアルバムから解除する」（お気に入りアルバムから全画面表示にした場合は「画像をお気に入りから解除する」）と「画像を削除する」が画面に表示されます。
「画像を削除する」をタッチしてください。

3 「画像をm:robeから削除します」のメッセージ画面で「OK」をタッチします。

4 「本当に削除してもよろしいですか？」のメッセージ画面で、再び「OK」をタッチします。
画像が削除されます。

補足

画像の削除を中止したい場合は、手順3または4で「CANCEL」をタッチしてください。

「お気に入り」に画像を登録する

お好みの画像を「お気に入り」に登録して、お気に入りアルバムを作成できます。
画像が全画面表示されていて、画面下に♥が表示されているときに♥をタッチすると、表示されている画像が「お気に入り」に登録され、「お気に入りに登録しました」というメッセージ画面が表示されます。
お気に入りアルバムはVIEWモードの検索方式「album」画面から、見ることができます。
「お気に入り」の登録を解除したり、「お気に入り」の画像をm:robeから削除することができます。
登録を解除する場合は、アルバムの登録を解除するときと同様の手順で行います。
「アルバムの登録を解除する」（☞56ページ）をご覧ください。
「お気に入り」内の画像を削除する場合は、アルバム内の画像を削除するときと同様の手順で行います。「m:robeから画像を削除する」（☞58ページ）をご覧ください。

画像をアルバムに登録する

－ALBUM（アルバム）モード

ALBUMモードでは、画像をm:robeに保存されているアルバムに登録することができます。

PHOTOのSHOOTモードやVIEWモード画面が表示されている場合は、画面右上のをタッチして、表示される画面内の「ALBUM」を選択して、モードを切り替えます。

1 （送る）と（戻る）を使用して、画面下段に表示されるアルバムから、登録先のアルバムを選んで表示させます。

補足

- 1つのアルバム（「お気に入り」を除く）には、画像を250枚まで保存できます。登録先のアルバム内の画像総数がこの制限を超える場合は、登録できません。
- 画面の下段に表示されるアルバムには「お気に入り」が含まれます。

2 （送る）と（戻る）を使用して、画面上段に表示されるサムネイルリストから、登録する画像を選んでタッチします。

3 画面下の[ ]をタッチします。

画像がアルバムに登録されて、アルバム内画像総数が更新されます。

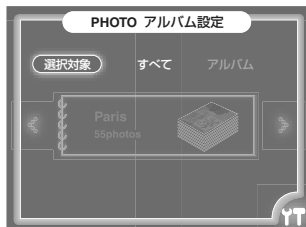
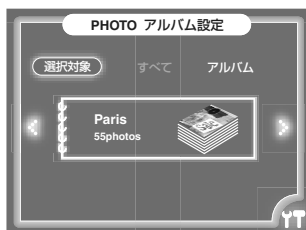
補足

登録した画像が、すでにアルバム内に保存されている場合は、アルバム内画像総数は更新されません。

PHOTO

登録する画像のサムネイルリストの内容を変更する

ALBUM モード画面上段のサムネイルリストを、お好みのアルバムのサムネイルリストに変更できます。

1 ALBUMモード画面右下の をタッチします。
「PHOTO アルバム設定」画面が表示されます。

2 「選択対象」の「アルバム」をタッチします。

3 (送る)と (戻る)を使用して、アルバムを表示させます。

4 再び をタッチします。
ALBUMモード画面に戻り、設定が完了します。

補足

- サムネイルリストの内容をm:robe内の全画像に戻す場合は、手順2の「選択対象」の「すべて」をタッチしてください。
- 手順3のアルバムには「お気に入り」が含まれます。

PHOTO

REMIX では、曲と画像、リミックステンプレートの 3 つの要素を組み合わせてリミックス映像として楽しむことができます。この 3 つの要素が揃って完成された映像作品を「リミックスキューブ」と呼びます。REMIX には、リミックスキューブを作成する SET モード、リミックスキューブを再生するPLAYモードがあります。
この章では、REMIXでできることについて説明します。

REMIX画面を表示するには
POWERボタンを押して電源をオンにしてから、HOME画面で をタッチします。
MUSIC、PHOTO 画面が表示されている場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 REMIX」をタッチします。

リミックスキューブを作成する

－SET(セット)モード

リミックスキューブとは
音楽、画像、リミックステンプレートの 3 つが揃った完成作品です。曲と画像、リミックステンプレートを選択してリミックスキューブとして保存することができます。保存されたリミックスキューブは、使用した曲名と画像、リミックステンプレート名が埋め込まれたキューブ(立方体)アイコンで表示されます。

リミックステンプレートとは
複数の画像素材の動き方やデザイン効果を規定した一連の映像効果素材です。それぞれのテンプレートには「geometric」といった映像効果イメージタイトルがついています。

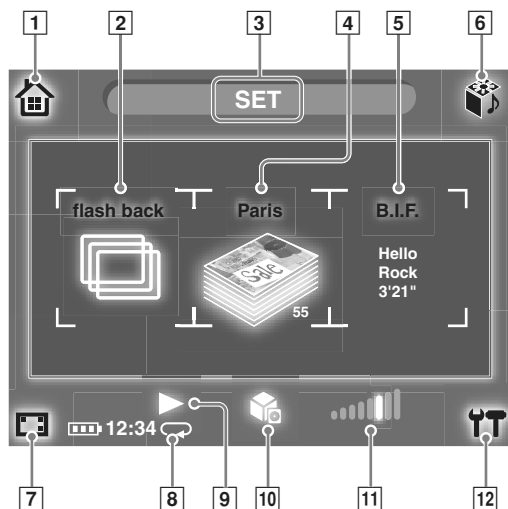
m:robeに用意されているリミックステンプレート

m:robeには様々なリミックステンプレートが用意されています。ここではその一部を紹介します。

補足

- リミックスキューブの再生で使用する画像の枚数には制限があり、その枚数はテンプレートによって異なります。
- ご使用のパソコンの環境によっては、リミックステンプレートの動作が異なって見える場合があります。
- リミックステンプレートによっては、m:robe で再生するのに最適な表現にするために、パソコン用テンプレートとは一部表現を変えている場合があります。

リミックス テンプレート	説明
flash back	黒いレイヤーによる画面切り替え、光がきらめくような写真のオーバーラップ効果など、記憶のフラッシュバックをイメージしたテンプレートです。
tiles	四角いフレームのレイアウト変化を基調としたテンプレートです。 複数の写真が平行・垂直移動でスライドインしながら次々と画面を切り替えます。
geometric	ボーダー柄やドット、波紋パターンなどの幾何学模様を織り交ぜた画面切り替えなどデザイン性の高い映像効果を取り入れたテンプレートです。
Birthday Happy Birthday	「Happy Birthday」のメッセージとポップな映像効果を中心に、アップテンポな曲に合う大胆な画面切り替えを特長としたテンプレートです。

SETモードの基本操作

番号	項目	説明
1	MUSIC/PHOTO/ HOME切り替え	表示される画面内の「MUSIC」／「PHOTO」／「HOME」を選択して、それぞれの画面を表示します。
2	テンプレートアイコン	「-TEMPLATE-」画面を表示して、テンプレートを選択します。(☞67ページ)
3	モード名表示	現在のモード名「SET」が表示されます。
4	アルバムアイコン	「-PHOTO-」画面を表示して、アルバムを選択します。(☞68ページ)
5	曲アイコン	「-MUSIC-」画面を表示して、曲を選択します。(☞69ページ)
6	モード切り替え	表示される画面内の「▶ PLAY」を選択して、PLAY モード画面を表示します。
7	表示オン／オフ	画面隅のアイコンとインジケータの表示のオン / オフを切り替えます。
8	リピート再生マーク	「リピート再生」を「1曲」／「すべて」に設定しているとき、表示されます。(☞75ページ)
9	プレビュー	プレビュー再生します。(☞71ページ)
10	保存	リミックスキューブを保存します。(☞71ページ)

番号	項目	説明
11	音量調節	音量調節画面を表示して、音量を大きくしたい場合は右側の🔊、小さくしたい場合は左側の🔈をタッチして調節します。調節後、音量調節画面以外の部分をタッチすると前の画面に戻ります。
12	設定	「REMIX 設定」画面を表示して、リミックスキューブのリピート再生（☞75 ページ）、作成に使用する画像の選択方法（☞70 ページ）、自動組合せ（☞66ページ）の設定を行います。

リミックスキューブの作成のしかた

リミックスキューブの作成のしかたには以下の2種類があります。
「自動組合せ」の設定のON/OFFを切り替えることで、作成方法を変更できます。

• **自動組合せOFF**（☞67ページ）
音楽、画像、テンプレートを手動で組み合わせて作成します。
音楽は「お気に入り」内の曲、画像はアルバムを選択して作成します。

• **自動組合せON**（☞72ページ）
MUSICで聴いている音楽、PHOTOのVIEWモードで見ている画像から作成します。
「この曲／画像でリミックスキューブを作成したい」と思ったときに便利な機能です。
－MUSICで曲を再生中にREMIX画面に切り替えると、その曲でリミックスキューブを作成できます。その他の2つの項目（画像とテンプレート）は自動的に選択されます。
－PHOTOのVIEWモードの検索方式「album」画面でアルバムを表示してREMIX画面に切り替えると、そのアルバムでリミックスキューブを作成できます。その他の 2 つの項目（曲とテンプレート）は自動的に選択されます。

「自動組合せ」の設定を切り替えるには

1 REMIX画面右下の🍴をタッチします。
「REMIX設定」画面が表示されます。

2 「自動組合せ」の「OFF」または「ON」をタッチします。

3 再び🍴をタッチします。
前の画面に戻り、設定が完了します。

手動で組み合わせて作成する(自動組合せOFF)

曲、画像、テンプレートを手動で組み合わせて、リミックスキューブを作成します。

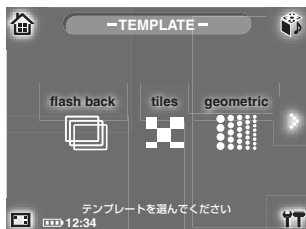
「「自動組合せ」の設定を切り替えるには」(☞66ページ)の手順に従って設定がOFFになっていることを確認します。

1 SETモード画面で、曲、画像、テンプレートを選択します。

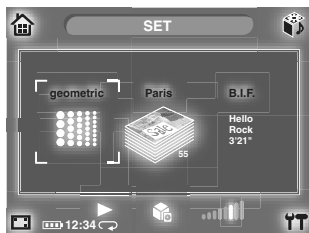
お好みの項目から選択します。

- **テンプレートの選択**

① 「SET」モード画面左のテンプレートアイコンをタッチして、テンプレート選択画面に切り替えます。

「-TEMPLATE-」画面が表示されます。

② (送る)と(戻る)を使用して、リストからお好みのテンプレートを選んでタッチします。

「SET」モード画面に戻り、テンプレートが決定します。

補足

テンプレートを決定した後でも、リミックスキューブを保存する前であれば選択しなおすことができます。

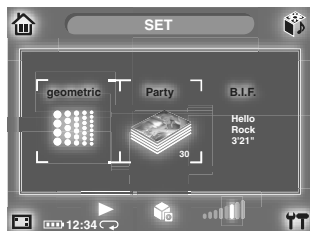
- **画像の選択**

  アルバムを選択します。

① 「SET」モード画面中央のアルバムアイコンをタッチして、画像選択画面に切り替えます。

「-PHOTO-」画面が表示されます。

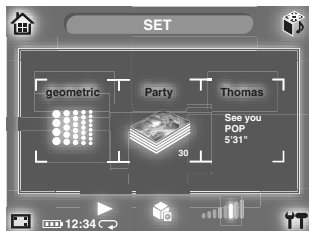
② (送る)と(戻る)を使用して、リストからお好みのアルバムを選んでタッチします。

「SET」モード画面に戻り、アルバムが決定します。

補足

- 手順①で表示されるリストには、PHOTOの「お気に入り」を含むアルバムのみ表示されます。画像をアルバムまたは「お気に入り」に登録するには、以下の方法があります。
  - 画像を撮影するときに、保存先アルバムを指定する。(☞45ページ)
  - ALBUMモードで、画像をアルバムに登録する。(☞61ページ)
  - 画像を「お気に入り」に登録する。(☞60ページ)
- アルバムを決定した後でも、リミックスキューブを保存する前であれば選択しなおすことができます。
- 選択されたアルバムに縦横比が3:4以外の画像やパソコンで加工した画像がある場合、リミックスキューブの再生時に90度回転されたり、縦または横方向に引き伸ばされて表示される場合があります。

- **曲の選択**

① 「SET」モード画面右の曲アイコンをタッチして、曲選択画面に切り替えます。
「-MUSIC-」画面が表示されます。

② （送る）と（戻る）を使用して、リストからお好みの曲を選んでタッチします。
「SET」モード画面に戻り、曲が決定します。

補足

- 手順 ① で表示されるリストには、MUSIC で「お気に入り」に登録されている曲のみ表示されます。曲を「お気に入り」に登録する方法について詳しくは、「「お気に入り」に曲を登録する」（☞41 ページ）をご覧ください。
- 曲を決定した後でも、リミックスキューブを保存する前であれば選択しなおすことができます。

REMIX

2 使用する画像の選択方法を設定します。

リミックスキューブの再生で使用する画像の枚数には制限があります。使用する画像を、アルバムからランダムに選択する、またはアルバム内の先頭から選択するように設定できます。

補足

- お買い上げ時は、画像の選択方法は「ランダム」に設定されています。
- 画像の制限枚数はテンプレートによって異なります。
- 選択したアルバム内にある画像の枚数が制限に満たない場合は、アルバム内の画像が繰り返し使用されます。

① REMIX画面右下の をタッチします。

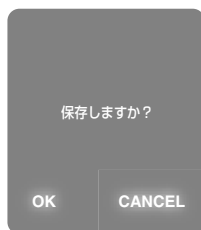
「REMIX設定」画面が表示されます。

② 「画像選択」の「ランダム」または「先頭から」をタッチします。

③ 再び をタッチします。

前の画面に戻り、設定が完了します。

3 リミックスキューブを保存します。

画面下のをタッチして表示される「保存しますか？」のメッセージ画面で、「OK」をタッチします。

「保存中」画面が表示された後、リミックスキューブは保存され、自動的に SET モードから PLAY モードに切り替わります。リミックスキューブの再生のしかたについて詳しくは、「リミックスキューブを再生する」(☞74ページ)をご覧ください。

保存を中止したいときは、「CANCEL」をタッチします。

リミックスキューブを保存する前に確認するには(プレビュー再生)

手順3でリミックスキューブを保存する前に、プレビュー再生することができます。手順1または2の後、画面下の▶をタッチすると、プレビュー再生が始まります。音量を調節したい場合は、リモコンで行ってください。

再生が終了すると、「SET」モード画面に戻ります。途中で停止したいときは、再生中に画面をタッチします。

リミックスキューブの作成を続けるには

画面右上のをタッチして表示される画面内の「■×■×■ SET」を選択して、SET モードに切り替えてから、手順1～3を繰り返します。

聴いている曲や見ている画像でリミックスキューブを作成する（自動組合せON）

MUSICで再生している曲やPHOTOのVIEWモードで見ている画像でリミックスキューブを作成します。

- MUSICで曲を再生中にREMIX画面に切り替えると、その曲でリミックスキューブを作成できます。その他の2つの項目（画像とテンプレート）は自動的に選択されます。
- PHOTOのVIEWモードの検索方式「album」画面でアルバムを表示してREMIX画面に切り替えると、そのアルバムでリミックスキューブを作成できます。その他の2つの項目（曲とテンプレート）は自動的に選択されます。

「「自動組合せ」の設定を切り替えるには」（☞66ページ）の手順に従って設定がONになっていることを確認します。

再生中の曲で作成（MUSICからREMIX）

 補足

- 音楽が停止中にMUSIC画面からREMIX画面に切り替えた場合は、MUSIC画面上に表示されている曲でリミックスキューブを作成します。
- 再生中の曲（停止中はMUSIC画面上に表示されている曲）がお気に入りリスト内の曲でない場合は、REMIX画面に切り替えたとき、その曲が「お気に入り」に登録されます。

MUSICで曲を再生中に、REMIX画面に切り替えます。

MUSIC画面左上の をタッチして表示される画面内の「 REMIX」をタッチします。
「SET」モード画面が表示されます。

再生中の曲名（画面右）、自動で選択されたアルバム名（画面中央）とテンプレート名（画面左）がそれぞれのアイコンに表示されます。

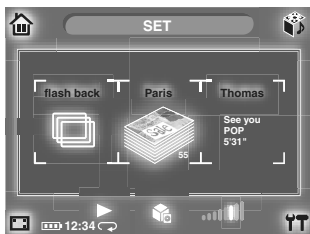
 補足

自動的に選択されたアルバムとテンプレートを手動で変更することもできます。変更する場合は、それぞれを手動で選択するときと同様の手順で行ってください。手動で選択するときの手順について詳しくは、「手動で組み合わせて作成する（自動組合せOFF）」（☞67ページ）をご覧ください。

リミックスキューブの保存のしかたなど、この後の手順は手動で組み合わせて作成する場合と同様になります。70ページの手順2から行ってください。

表示しているアルバムで作成(PHOTOのVIEWモードの検索方式「album」画面からREMIX)

PHOTO の VIEW モードの検索方式「album」画面でアルバムを表示しているときに、REMIX画面に切り替えます。

PHOTO画面左上の をタッチして表示される画面内の「 REMIX」をタッチします。
「SET」モード画面が表示されます。

表示していたアルバム名(画面中央)、自動で選択された曲名(画面右)とテンプレート名(画面左)がそれぞれのアイコンに表示されます。

補足

- 自動的に選択された曲とテンプレートを手動で変更することもできます。変更する場合は、それぞれを手動で選択するときと同様の手順で行ってください。手動で選択するときの手順について詳しくは、「手動で組み合わせて作成する(自動組合せOFF)」(☞67ページ)をご覧ください。
- PHOTOのVIEWモードの検索方式「all」画面からREMIX画面に切り替えた場合は、m:robe内の全画像から使用する画像が選択されます。検索方式「calendar」の撮影年月選択画面から REMIX 画面に切り替えた場合は、画面上に表示されている撮影年内の画像から、撮影日選択画面から切り替えた場合は、フォーカス表示されている撮影日内の画像から使用する画像が選択されます。
- 選択されたアルバムに縦横比が3:4以外の画像やパソコンで加工した画像がある場合、リミックスキューブの再生時に90度回転されたり、縦または横方向に引き伸ばされて表示される場合があります。

リミックスキューブの保存のしかたなど、この後の手順は手動で組み合わせて作成する場合と同様になります。70ページの手順2から行ってください。

リミックスキューブを再生する

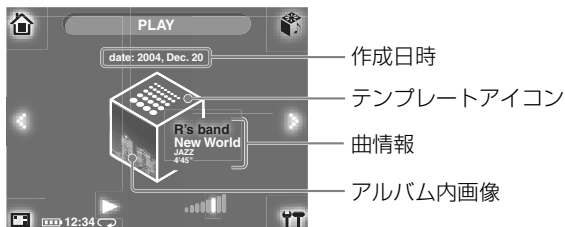
－PLAY（プレイ）モード

SETモードからPLAYモードに切り替えるには

画面右上の をタッチして表示される画面内の「▶PLAY」をタッチします。

リミックスキューブの再生のしかた

1 PLAYモード画面で、再生したいリミックスキューブを選択します。

（送る）と（戻る）を使用して、再生したいリミックスキューブを表示させます。

2 画面下の▶をタッチします。

リミックスキューブの再生が始まります。

再生が終了すると、PLAYモード画面に戻ります。

停止するには

画面をタッチします。

「PLAY」モード画面に戻ります。

音量を調節するには

画面下の をタッチして音量調節画面を表示して、音量を大きくしたい場合は右側の を、小さくしたい場合は左側の をタッチして調節します。調節後、音量調節画面以外の部分をタッチすると前の画面に戻ります。

再生中は、リモコンで調節してください。

REMIX

繰り返し再生する

1つのリミックスキューブ、またはm:robe内のすべてのリミックスキューブを繰り返し再生するように設定することができます。

1 画面右下の をタッチします。
「REMIX設定」画面が表示されます。

2 「リピート再生」の「1曲」または「すべて」をタッチします。

- 1曲: 1つのリミックスキューブを繰り返し再生します。
- すべて: m:robe内のすべてのリミックスキューブを繰り返し再生します。

3 再び をタッチします。
前の画面に戻り、設定が完了します。
画面下に (1曲)または (すべて)と表示されます。

リピート再生を解除したい場合は、手順2で「OFF」をタッチします。

プリントする

m:robeとPictBridge対応のプリンタを付属の専用USBケーブルで接続して、画像をプリントすることができます。プリントはPHOTOのVIEWモードで行います。
この章では、プリントのしかたについて説明します。

PictBridge対応のプリンタでプリントする

ーダイレクトプリント

m:robeとPictBridge対応のプリンタを付属の専用USBケーブルで接続して、m:robe内の画像を直接プリントすることができます。プリントする枚数や用紙などの設定は、m:robe とプリンタを接続した状態で、画面をタッチして行います。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でご確認ください。

PictBridgeとは
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続して、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定について
PictBridge 対応のプリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。用紙の設定は通常、この標準設定に従ってプリントされます。設定を変更したい場合は、「用紙設定を変更する」(☞87 ページ)の手順に従って、変更してください。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにお問い合わせください。

補足
プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付けかたについては、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
プリンタと接続するときは、ACアダプタのご使用をおすすめします。プリンタと通信中にm:robeの動作が停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データが破損することがあります。

プリンタに接続する

1 m:robeの「USB接続」が「プリンタ」に設定されていることを確認します。

① HOME画面右下の をタッチします。

「m:robe設定」画面が表示されます。

② 「USB 接続」をタッチします。

「USB接続」画面が表示されます。

③ 「プリンタ」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は、「プリンタ」をタッチします。

④ 「OK」をタッチします。

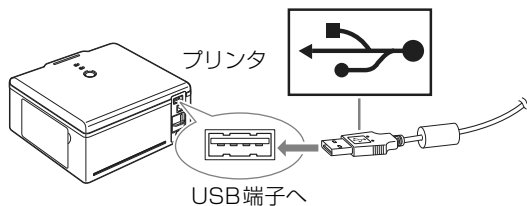
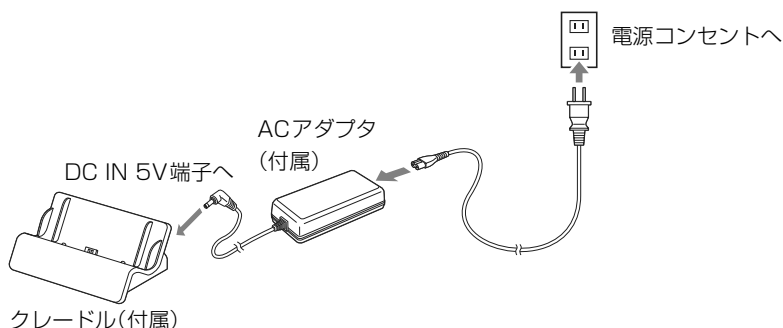
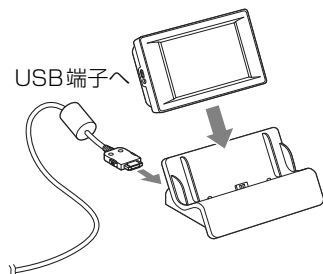
「m:robe設定」画面に戻ります。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

2 付属の専用USBケーブルで、m:robeをPictBridge対応のプリンタに接続します。

① プリンタの電源をオンにして、プリンタのUSB端子に、付属の専用USBケーブルを接続します。

プリンタの電源の入れかたおよび USB 端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

② ACアダプタをクレードルに接続します。

③ 専用USBケーブルを、コネクタの矢印があるほうの面を下側にしてクレードルのUSB端子に接続した後、電源オンの状態でm:robeをクレードルに取り付けます。

m:robeとプリンタを接続すると、m:robeに「接続中」画面が表示されます。
しばらくすると、接続する前の画面が表示されます。

画像をプリントする

プリンタに接続した後、m:robeにPHOTO画面が表示されていない場合は、HOME画面でをタッチする、またはMUSIC/REMIX画面左上のをタッチして表示される画面内の「PHOTO」をタッチします。
PHOTOのVIEWモード画面が表示されていない場合は、画面右上のをタッチして表示される画面内の「▶ VIEW」をタッチします。
プリンタに接続しているときは、画面下に と表示されます。

m:robeとPictBridge対応のプリンタを接続した後、プリントする項目または画像を選択して、プリントモードを選択します。プリントモードには以下の４種類があります。

- **プリント**（☞80ページ）

選択した画像をプリントします。
検索方式「all」画面でフォーカス表示されている画像、または全画面表示されている画像をプリントします。

- **マルチプリント**（☞80ページ）

１枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトしてプリントします。
検索方式「all」画面でフォーカス表示されている画像、または全画面表示されている画像をプリントします。

- **全コマプリント**（☞83ページ）

選択した項目内のすべての画像をプリントします。
アルバム内のすべての画像（検索方式「album」画面から）、選択した撮影日内のすべての画像（検索方式「calendar」画面から）をプリントします。

- **全コマインデックス**（☞83ページ）

選択した項目内のすべての画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
アルバム内のすべての画像（検索方式「album」画面から）、選択した撮影日内のすべての画像（検索方式「calendar」画面から）をプリントします。

プリントモードや各設定について

使用するプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

プリントモード／マルチプリントモードでプリントする

1 プリントする画像を選択します。

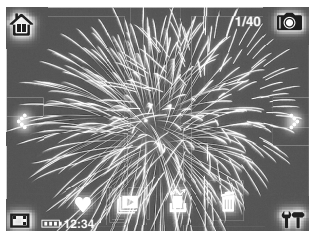
- **検索方式「all」画面のフォーカス表示されている画像をプリント**

① 検索方式「all」画面が表示されていない場合は、画面上に「all」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

② ⁚•（送る）と•⁚（戻る）を使用して、サムネイルリストからプリントする画像を選んでタッチします。

選択した画像がフォーカス表示されます。

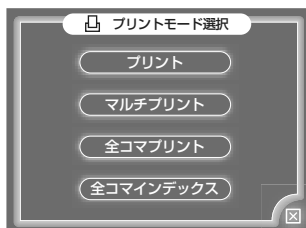
- **全画面表示の画像をプリント**

検索方式「all」、「album」、「calendar」画面で、プリントする画像を検索して全画面表示にします。

補足

画像を検索して全画面表示にする方法について詳しくは、それぞれの検索方式の説明をご覧ください。

- 検索方式「all」（☞50ページ）
- 検索方式「album」（☞52ページ）
- 検索方式「calendar」（☞53ページ）

2 画面下の をタッチします。

「プリントモード選択」画面が表示されます。

3 「プリント」または「マルチプリント」をタッチします。

「プリント情報設定」画面が表示されます。

4 ∴(送る)と∵(戻る)を使用して、「プリント枚数」を設定します。

5 手順３で「プリント」を選択した場合は、「日付」の「なし」または「日付」、「日付・時刻」をタッチします。

- なし: 画像のみプリントされます。
- 日付: 画像に撮影年月日がプリントされます。
- 日付･時刻: 画像に撮影年月日、撮影時刻がプリントされます。

手順３で「マルチプリント」を選択した場合は、日付や時刻のプリントはできません。

6 ⁘ をタッチします。

「プリント」画面が表示されます。

補足

画面右下の をタッチして表示される「用紙設定」画面で、用紙の設定を変更できます。詳しくは、「用紙設定を変更する」(☞87ページ)をご覧ください。

7 「プリント」をタッチします。

プリントが始まり、「プリント中」画面が表示されます。
プリントを途中で中止したい場合は、「中断」をタッチして表示される画面内の「中止」をタッチします。

ご注意

「プリント中」画面が表示されている間は、m:robeとプリンタの接続を解除しないでください。

プリントが終了すると、手順１で選択した画面に戻ります。

補足

「プリントモード選択」、「プリント情報設定」画面で右下の をタッチする、または手順７で「中止」をタッチすると、手順１で選択したそれぞれの画面に戻ります。

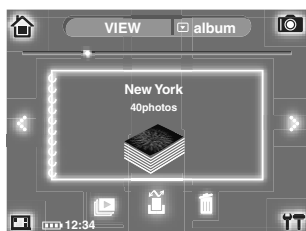
全コマプリントモード／全コマインデックスモードでプリントする

補足

- 全コマプリントモード／全コマインデックスモードでは、画像を 250 枚までプリントできます。「お気に入り」または選択した撮影日内の画像総数がこの制限を超える場合は、m:tripに取り込んだ最初の画像から250枚目までがプリントされます。251 枚目からをプリントしたい場合は、プリントモードで 1 枚ずつプリントしてください。
- 全コマインデックスプリントでは、分割数などの設定はプリンタによって自動的に決められます。
- インデックスの機能に対応していないプリンタでは、全コマインデックスプリントはできません。

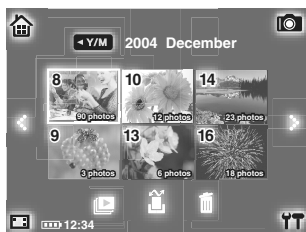
1 プリントする項目を選択します。

- **アルバム内の全画像をプリント**

① 検索方式「album」画面が表示されていない場合は、画面上に「album」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

② (送る)と (戻る)を使用して、プリントするアルバムを表示させます。

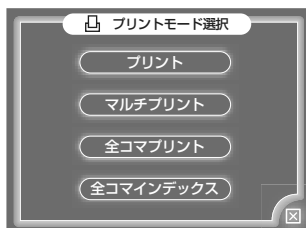
- **撮影日内の全画像をプリント**

① 検索方式「calendar」画面が表示されていない場合は、画面上に「calendar」が表示されるまで、▼を繰り返しタッチします。

② （送る）と（戻る）を使用して、カレンダーから撮影年を選んで、撮影月をタッチします。

③ （送る）と（戻る）を使用して、プリントする撮影日を選んでタッチします。

選択した撮影日の画像がフォーカス表示されます。

2 画面下の をタッチします。

「プリントモード選択」画面が表示されます。

3 「全コマプリント」または「全コマインデックス」をタッチします。

「プリント情報設定」画面が表示されます。

4 ∴(送る)と∵(戻る)を使用して、「プリント枚数」を設定します。

5 手順3で「全コマプリント」を選択した場合は、「日付」の「なし」または「日付」、「日付･時刻」をタッチします。

- なし: 画像のみプリントされます。
- 日付: 画像に撮影年月日がプリントされます。
- 日付･時刻: 画像に撮影年月日、撮影時刻がプリントされます。

補足

手順3で「全コマインデックス」を選択した場合は、日付や時刻のプリントはできません。

6 ⁚· をタッチします。

「プリント」画面が表示されます。

補足

画面右下の をタッチして表示される「用紙設定」画面で、用紙の設定を変更できます。詳しくは、「用紙設定を変更する」(☞87ページ)をご覧ください。

7 「プリント」をタッチします。

プリントが始まり、「プリント中」画面が表示されます。
プリントを途中で中止したい場合は、「中断」をタッチして表示される画面内の「中止」をタッチします。

ご注意

「プリント中」画面が表示されている間は、m:robeとプリンタの接続を解除しないでください。

プリントが終了すると、手順1で選択した画面に戻ります。

 補足

「プリントモード選択」、「プリント情報設定」画面で右下の ☒ をタッチする、または手順7で「中止」をタッチすると、手順1で選択したそれぞれの画面に戻ります。

用紙設定を変更する

プリントする用紙の設定を変更することができます。
通常はお使いのプリンタの標準設定値でプリントされます。

プリントモード／全コマプリントモード／全コマインデックスモードでプリントするとき

マルチプリントモードでプリントするとき

- サイズ

設定値はお使いのプリンタによって異なります。

- フチ

－標準設定: お使いのプリンタの設定に従ってプリントします。
－なし: 用紙いっぱいにプリントします。
－あり: 用紙のフチに余白をつけてプリントします。

- 分割数

設定値は用紙サイズやプリンタの種類によって異なります。

それぞれの「用紙設定」画面でお好みの設定をタッチして選択した後、画面右下の をタッチすると「プリント」画面に戻り、設定が完了します。

補足

用紙設定を変更した場合は、ダイレクトプリントを終了するまで変更した設定が保持されます。
次回プリンタに接続してプリントするとき、用紙設定は「標準設定」になります。

テレビで再生する

m:robeを付属のAVケーブルでテレビに接続して、音楽、画像、リミックスの再生をテレビで楽しむことができます。

ビデオ出力方式を設定する

使用するテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALに設定します。

映像信号について

- NTSC（National Television Systems Committee）

主に日本、北米、韓国で使用されています。

- PAL（Phase Alternating Line）

主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

お買い上げ時には、日本のテレビ映像信号に合わせてNTSCに設定されています。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME画面右下の をタッチして表示される「m:robe設定」画面で、「ビデオ出力」をタッチします。

「ビデオ出力」画面が表示されます。

2 「NTSC」または「PAL」をタッチします。

3 「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

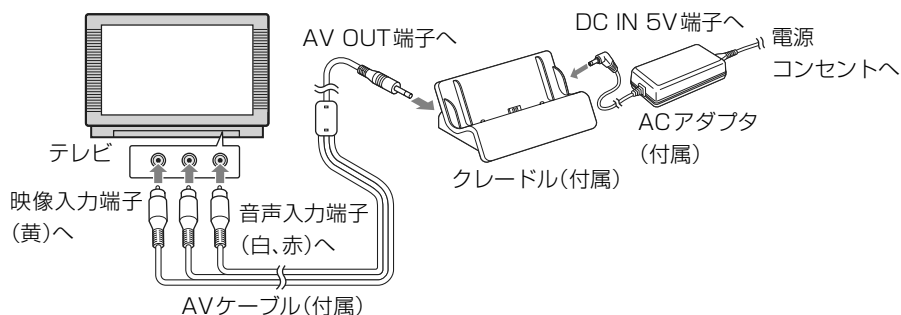
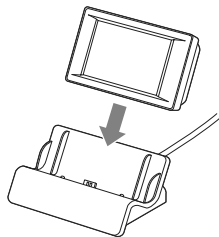
HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

テレビに接続して再生する

ご注意

- AVケーブルをテレビに接続するときは、テレビの音量を最小にしてください。
- 音楽を再生するときは突然大きな音が出ないよう、テレビの音量を確認しながらm:robeの音量を調節してください。

1 テレビとクレードルを付属のAVケーブルで接続し、ACアダプタをクレードルに接続します。

2 m:robeをクレードルに取り付けます。

3 テレビに出力したい音楽、画像(スライドショーを含む)、またはリミックスキューブを再生して、m:robeとテレビの音量を調節します。

補足

音楽を再生した場合は、曲送り、曲戻しなど基本的な操作を m:robe に付属のリモコンで行うことができます。

4 m:robe本体のHOLDボタンを押します。

m:robeで表示していた画面が、テレビの画面に出力されます。

テレビへの出力を解除するには

HOLDボタンを押します。

 補足

テレビの映像／音声入力端子については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

m:robeを設定する

表示言語を切り替える

画面に表示される言語を切り替えることができます。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME画面右下の をタッチして表示される「m:robe設定」画面で、「言語」をタッチします。

「言語」画面が表示されます。

2 （送る）と（戻る）を使用して、切り替えたい言語を選んでタッチします。

3 「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

設定を中止したい場合は、手順3で「CANCEL」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

日付と時刻を設定する

日付と画面左下に表示される現在時刻を設定することができます。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME 画面右下の をタッチして表示される「m:robe 設定」画面で、「日付時刻」をタッチします。

「日付」画面が表示されます。

2 ∴(送る)と∵(戻る)を使用して、「年」、「月」、「日」を設定します。

「年／月／日」の順番を変更したい場合は、 を繰り返しタッチします。

3 をタッチします。

「時刻」画面が表示されます。

4 ∴(送る)と∵(戻る)を使用して、時、分を設定します。

24時間表示にしたい場合は をタッチします。

5 「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

補足

設定を中止したい場合は、手順5で「CANCEL」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

操作音をON/OFFに設定する

操作音を鳴らす、または消すように設定することができます。

補足

撮影時の操作音は、「操作音」を「OFF」に設定しても消えません。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME 画面右下の をタッチして表示される「m:robe 設定」画面で、「操作音」をタッチします。

「操作音」画面が表示されます。

2 操作音を消したい場合は「OFF」、鳴らしたい場合は「ON」をタッチします。

3 「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

補足

設定を中止したい場合は、手順３で「CANCEL」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

m:robeを設定する

LCD画面の明るさとバックライト点灯時間を設定する

画面の明るさを調整したり、m:robe を操作したときに画面のバックライトが点灯する時間を設定することができます。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME画面右下の をタッチして表示される「m:robe設定」画面で、「LCD」をタッチします。

「LCD」画面が表示されます。

2 「明るさ調整」で、明るくしたい場合は右側の を、暗くしたい場合は左側の をタッチして調整します。

3 「バックライト点灯時間」で、「3 秒」または「15 秒」、「30 秒」、「常時」をタッチします。

4 「OK」をタッチします。

「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

補足

- LCDの「明るさ調整」を暗めに設定し、「バックライト点灯時間」を短め (3秒等) に設定するとバッテリ持続時間が長くなります。
- 設定を中止したい場合は、手順4で「CANCEL」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

オフタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、m:robeの電源がオフになるように設定することができます。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME画面右下の をタッチして表示される「m:robe設定」画面で、「オフタイマー」をタッチします。
「オフタイマー」画面が表示されます。

2 「30分」または「60分」、「90分」をタッチします。

3 「OK」をタッチします。
「m:robe設定」画面に戻り、設定が完了します。

補足

設定を中止したい場合は、手順３で「CANCEL」をタッチします。

オフタイマーを解除するには

手順２で「OFF」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

設定をリセットする

すべての設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

HOME画面が表示されていない場合は、画面左上の をタッチして表示される画面内の「 HOME」をタッチします。

1 HOME画面右下の をタッチして表示される「m:robe設定」画面で、「設定リセット」をタッチします。
「設定リセット」画面が表示されます。

2 「OK」をタッチします。
「本当に初期設定に戻しますか？」というメッセージ画面が表示されます。

3 再び「OK」をタッチします。
「設定を初期化しました」というメッセージ画面が表示され、すべての設定のリセットが完了します。

補足

リセットを中止したい場合は、手順2または3で「CANCEL」をタッチします。

HOME画面に戻るには

画面右下の をタッチします。

その他

外付けハードディスクドライブとして使用する

m:robeをパソコンの外付けハードディスクドライブとして認識させることができます。
m:robe内に音楽／画像以外のデータを入れて持ち運べます。

ご注意

- パソコンで、m:robeハードディスクのSystemフォルダやその内部のファイルを追加／修正／消去したり、フォルダ名／ファイル名を変更すると、m:robeが正常に動作しなくなるため、絶対に行わないでください。
- 付属の音楽･画像管理ソフト m:trip 以外のアプリケーションソフトを使用して音楽／画像ファイルデータを入れても、それらのファイルは再生できません。また、パソコンから m:trip フォルダ内のデータの書き換え／消去は行わないでください。

お手入れについて

m:robeの外側
柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから拭き取ってください。海辺で使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ってください。

液晶ディスプレイ
液晶ディスプレイに付いたゴミや汚れは、柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使用しないでください。

m:robeを廃棄されるときのご注意

本製品を廃棄されるときは内蔵バッテリを取り外してください。廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

危険

- **内蔵バッテリの電極(＋と－端子)に金属類を近づけたり、強い衝撃を与えない。**またネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **内蔵バッテリを加熱、分解、改造したり、火や水の中に入れたり、炎天下へ放置しない。**発熱、破裂、発火の原因となります。

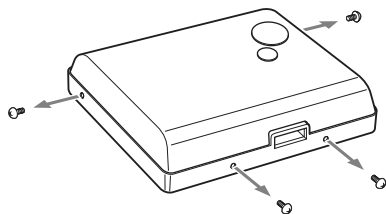
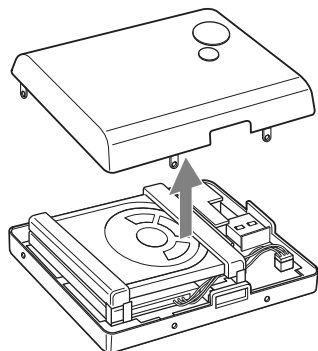
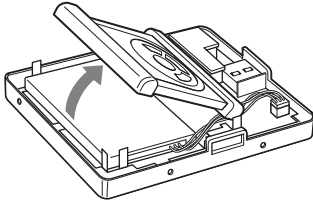
- **内蔵バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、投げつけたり、踏みつけたりしない。**発熱、破裂、発火の原因となったり、液漏れの原因になります。
- **内蔵バッテリのコネクタに絶縁テープを貼る。**電極がショートすると、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

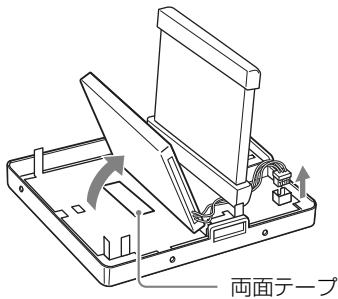
警告

- **内蔵バッテリを、幼児、子供の手の届く場所に置かない。**けがなどの事故の原因となります。
- **内蔵バッテリの液が漏れて触ったり目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること。**そのままにしておくと、皮膚や目に障害が起きる原因となります。

内蔵バッテリの取り外しかた

1 m:robeの電源がオンになっている場合は、LEDが点滅するまでPOWERボタンを長押しして、電源をオフにします。

2 側面のネジをドライバで外します。

3 裏面のキャビネットを外します。

4 ハードディスクを持ち上げます。

5 内蔵バッテリを取り出します。

バッテリに貼り付けてある両面テープをはがし、バッテリを取り外した後、コネクタ部分を引き抜きます。

6 ケーブルをバッテリ本体に貼り付けて、ポリ袋などに入れます。

取り外した内蔵バッテリは、ケーブルのコネクタ部をテープで覆うようにしてバッテリ本体に貼り付けて、ポリ袋などに入れてください。

ご注意

- 内蔵バッテリは完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 電源がオフになっていることを確認してから取り外してください。
- 一度取り出した内蔵バッテリは、再び接続しないでください。
- 取り出した内蔵バッテリはなるべく早めに充電式バッテリリサイクル協力店へお持ちください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、地方自治体にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

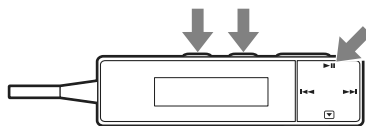
修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
なお、修理･点検に出されるときには、必ずバックアップをお願いします。修理･点検によりハードディスクへの書き込みや消去等を行うことがあり、お客様のデータが損なわれることがあります。当社においては、著作権上から修理･点検に際して、データのコピーをいたしておりません。データの修復はできませんのであらかじめバックアップをしてからお出しください。
また、故障によるデータの喪失を防ぐためにも、同期機能によるバックアップをこまめにお取りいただくことをおすすめします。

こんなときは	原因･状態	こうしましょう	参照ページ
電源がオンにならない	バッテリの残量がない。	付属のACアダプタで充電してください。	20
	動作が不安定になっている。	本製品を再起動してください。	102
電源がオフになる	オフタイマーが設定されている。	オフタイマーで設定した時間が経過すると、本製品の電源は自動的にオフになります。オフタイマーを解除したい場合は、「OFF」に設定してください。	95
	オートオフが動作した。	音楽やスライドショー、リミックスなどの再生が停止した状態で10 分間操作しないと、自動的に電源がオフになります。再びPOWER ボタンを押して、電源をオンにしてください。	24
	バッテリの残量が少ない。	付属の AC アダプタで充電してください。	20
タッチパネル操作に反応しない	ホールドに設定されている。	HOLD ボタンを押してホールドを解除してください。	19
本体が熱くなる	長時間使用して本体の温度が上がった。	故障ではありません。	―
バッテリの持続時間が短い	バッテリが劣化している。	バッテリは充電回数や使用時間によって性能が劣化します。バッテリは約500回充電できます。充分に充電しても使える時間が短くなった場合は、当社サービスステーションにてバッテリを交換してください。	―

こんなときは	原因・状態	こうしましょう	参照ページ
画面に何も表示されない	バッテリの残量がない。	付属のACアダプタで充電してください。	20
	ホールドに設定されている。	ホールドに設定されているときは、画面が消灯します。HOLDボタンを押してホールドを解除してください。	19
画面が暗い	LCD画面の明るさが暗く設定されている。	LCD画面の明るさの設定を調整してください。	94
画面のバックライトが消灯する	バックライト点灯時間が設定されている。	バックライト点灯時間をお好みの時間または常時点灯するように設定を変更してください。	94
音楽が聞こえない	音量が最小になっている。	本体またはリモコンの音量を上げてください。	17 31 66 74
	リモコンまたはヘッドホンが正しく接続されていない。	リモコンとヘッドホンが本体に正しく接続されているか確認してください。	18
ピントが合わない	被写体が近すぎる。	被写体を40cm以上離して撮影してください。	—
	画面をタッチして撮影するときに本体が動いてしまった。	撮影時は手振れをおこさないように本体をしっかり構えて、画面中央部を軽くタッチしてください。	44
プリントできない	「USB接続」が「PC」に設定されている。	「USB接続」を「プリンタ」に設定してください。	77
	プリンタの電源がオンになっていない。	プリンタの電源をオンにしてください。	—
	PictBridge非対応のプリンタを使用している。	お使いのプリンタがPictBridge対応しているかどうか、プリンタの取扱説明書でご確認ください。	—
テレビに接続してもテレビに何も表示されない	本製品とテレビが正しく接続されていない。	テレビとクレードルの接続を確認してください。	89
	画面の出力先がテレビに切り替わっていない。	HOLDボタンを押して、画面の出力先を本製品からテレビに切り替えてください。	89

こんなときは	原因・状態	こうしましょう	参照ページ
転送したはずのファイルが見つからない	エクスプローラなどを経由して転送した。	付属の音楽･画像管理ソフトm:trip以外から転送したファイルは本製品に表示されません。m:tripと同期してください。	24
同期できない	「USB接続」が「プリンタ」に設定されている。	「USB接続」を「PC」に設定してください。	24
	本製品とパソコンが正しく接続されていない。	USBケーブルが抜けていないか確認してください。	24
	本製品の電源がオフになっている。	POWERボタンを押して、電源をオンにしてください。	24
	バッテリの残量が少ない。	付属のACアダプタで充電してください。	20

m:robeを再起動する

上記のチェック表に従って処置を行っても解決しないときは、m:robeを再起動してください。問題が解決する場合があります。
m:robeを再起動するには、リモコンの▶IIと♥とMODEボタンを同時に、3秒以上押します。

再起動しても問題が解決しない場合は、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

補足

m:robeを再起動しても、データは消去されません。

エラー表示一覧

本体のエラー表示

液晶ディスプレイ表示	原因	こうしましょう
バッテリ残量がありません	バッテリの残量がありません。	充電してください。
FULL 保存可能最大数値が0です	保存しようとしているファイルが最大値を超えるか、ハードディスクの残り要量が足りません。	不要なファイルを削除してください。
? このファイルは 再生できません	選択したファイルに問題がある、または本製品で対応していない形式のファイルで、再生できません。	
接続に失敗しました 接続を確認してからもう一度 やり直してください	本製品とパソコンが正常に接続されていないか、通信中にエラーが発生しました。	本体と USB ケーブルをクレードルから外し、最初からやり直してください。
このファイルは みつかりません	パソコンの m:trip 以外のソフトウェアで、ファイルが操作されました。	パソコンと同期してください。
? データベースに異常が 見つかりました すみやかにパソコンと 同期してください	ファイルを管理しているデータベースに異常が見つかりました。	パソコンと同期してください。
! システムエラーXXX: 修理が必要です	本製品に異常が発生しました。	当社サービスステーションにご連絡ください。

ダイレクトプリント設定中のエラー表示

液晶ディスプレイ表示	原因	こうしましょう
接続に失敗しました 接続を確認してからもう一度 やり直してください	本製品がプリンタに正しく接続されていません。	本製品とプリンタを正しく接続し直してください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が 変更になりました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	本製品とプリンタの電源をオフにして、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像は プリントできません	その他の機器で撮影した画像などは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにお問い合せください。
- 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は国内専用のため、海外では修理できません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(音楽の購入、取得、撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等を含む)については補償しかねます。また運賃諸掛かりはお客様において ご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して充分な梱包でお送りください。また、控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。
- 修理のために取り外した部品の所有権は当社に属するものとします。
- 点検、修理によりハードディスクへの書き込みや消去等を行うことがあり、記録した内容は失われる場合があります。点検、修理に出す前に必ずバックアップをしてください。また、記録された内容の変化、消失による損失に関しては、一切の責任を負いかねます。
- 当社では、損失した記録内容の復旧・修復作業はお受けいたしておりません。
  また当社においては、著作権上から修理、点検に際して記録内容のコピーをいたしておりません。データの書き戻しをお求めの際には、修理をお受けできない場合がございます。

仕様

項目	内容
製品名	DIGITAL AUDIO PLAYER
型番	MR-500i
内蔵バッテリ	リチウムポリマー充電式バッテリ
質量	約210g(本体のみ)
外形寸法	約109×73×21mm(幅／高さ／奥行き　最大突起部を除く)
液晶ディスプレイ	3.7型TFTカラー液晶(横640×縦480ドット)、約26万色
記録媒体	内蔵ハードディスク20GB[*1]
対応音楽ファイル形式	·Windows Media Audio (WMA) ·MPEG-1/2 Audio Layer3 (MP3)
最大保存曲数	約5,000曲[*2]
オーディオ連続再生時間	·約8時間 (WMA)[*3] ·約8時間 (MP3)[*3]
ビットレート	·WMA: 32～192kbps (可変ビットレートを含む) ·MP3: 8～320kbps (可変ビットレートを含む)
画像記録形式	JPEG
対応規格	Exif 2.2、PictBridge
最大保存枚数	約20,000枚[*4]
使用条件	·温度: 5～35℃ ·湿度: 30～90%(結露のないこと)
充電時間	約3時間
USBポート	USB2.0
ヘッドホン端子	3.5mmジャック／ステレオタイプ 負荷インピーダンス22Ω

[*1] 1GBを10億バイトで計算した場合の数値
(実際のフォーマットされた容量は20GB以下となります。)

[*2] 音楽データのみを入れた場合
WMA形式、128kbpsのファイルを、1曲4分で換算時

[*3] 常温(25℃)、本体ホールド設定(画面消灯)、調節範囲の中央の音量で、128kbps、44.1kHzのWMA/MP3形式データの場合
この連続再生時間は、使用条件、使用周囲温度、内蔵バッテリの充電の繰り返し回数などによって異なるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。

[*4] 400万画素で撮影された画像のみを入れた場合

カメラ仕様

有効画素数	122万画素（1280×960）
画像素子	1/4型MOS（原色フィルター）
撮影距離	40cm～∞

ACアダプタ

形式	スイッチングレギュレータ方式
入力	AC100-240V、50/60Hz
出力	DC 5V、2A

クレードル

外形寸法	約110×43×60mm（幅／高さ／奥行き　最大突起部を除く）
質量	約85g
コネクタ	DC IN 5V端子、USB端子、AV OUT端子

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

その他

お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。

- お名前（フリガナ）
- 連絡先：郵便番号
  ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
  電話番号／FAX
  E-mail
- 製品名（型番）：
- シリアル番号（製品底面に記載されています）：
- お買い上げ日：

※以下は、本製品をパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

- ご使用のパソコンの種類：
  パソコンメーカー・型番等
- メモリの容量　ハードディスクの空き容量：
- OS名とバージョン：
  コントロールパネルーシステムーデバイスマネージャーの内容
- その他接続されている周辺機器：
- 問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：
- 問題のご使用当社ソフト名とバージョン：

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1新宿モノリス

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、裏面の「お問い合わせいただく前に（お願い）」の内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30～21：00
土・日・祝日　10：00～18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00～17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１ 小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の 13 の４　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の 19 の 25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の 12 の 26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀 16 の 11　日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の 11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
　オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

J1-NG0464-01
YC0410